

FMV
DESKPOWER

H70L9V,H70L7V

さあ、はじめましょう))))

パソコンの準備



FUJITSU

1 各部名称

2 使い始める前に

3 接続する

4 パソコンを準備する

5 周辺機器の
設置／設定／増設

6 仕様一覧

知りたいことを調べるには

さあ、
はじめましょう

パソコンの準備

使い始めるまでの準備はこれでバッチリ。



パソコンの準備
の後は

FMV活用ガイド

基本や活用、セキュリティからトラブル解決までこれ一冊。



テレビチューナー
内蔵の機種なら

FMVで見る・録る・残すガイド

テレビや音楽を、見たり聴いたり録ったりして楽しむには、
これ! [注1]

注1:テレビチューナー内蔵機種のみ添付



サポートに
ついては…

サポート&サービスのご案内

どうしても問い合わせないとわからない…。
そんなときはこれ!



ちょっと確認!

基本操作クイックシート

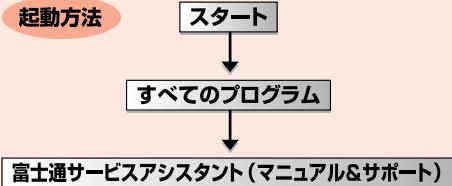
手元にあると便利、文字入力の早見表! [注2]
(二つ折りになっています)

注2:FMV-BIBLO LOOXシリーズには添付されておりません



マニュアルは「本」だけではありません!

～パソコン画面にもマニュアルがあります～



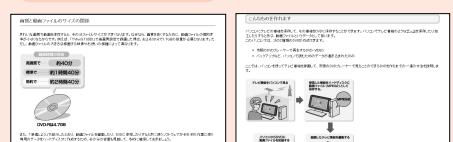
パソコンが初めての方でも安心!
パソコン入門

パソコンの基本操作や
文字入力を楽しく学習
したいならこれ!



FMVの使い方を知るには
画面で見るマニュアル

ソフトウェア、ハードウ
エア、インターネットな
どの説明からトラブル
シューティングまで、
幅広い情報を集結!



※この他にも、役に立つ情報が盛りだくさんです。

『パソコンの準備』の内容

必ずお読みください

まず機種名や添付品の確認をします

第2章 使い始める前に (☞P.21)



必要な機器を接続します

第3章 接続する (☞P.31)



電源を入れてパソコンを使う準備をします

第4章 パソコンを準備する

1 初めて電源を入れる (☞P.46)

目的に合わせてお読みください

■メモリを増やしたい (☞P.93)

■仕様を確認したい (☞P.108)

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクやCD/DVDなどの媒体にバックアップをお取りください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後6年間です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権

お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。

2. バックアップ

お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。

3. 本ソフトウェアへの別ソフトウェアへの組み込み

本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

4. 複製

(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。

本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。

ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。

(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。

5. 第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。

6. 改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

7. 壁紙の使用条件

お客様は、「FMV」ロゴ入りの壁紙を変更したり、第三者へ配布することはできません。

8. 保証の範囲

(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。

また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。

(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

9. ハイセイフティ

本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のよう、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows®をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております。（<http://www.microsoft.com/japan/>）。

お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。

したがいまして、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。

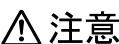
ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合もありますので、ご利用前にはサービスパックの「Readme.txt」を必ずご確認ください。

また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

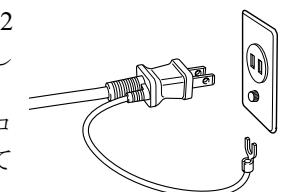
	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	○で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

電源プラグとコンセント形状の表記について

このパソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極接地用口出線付プラグ」です。本書では「電源プラグ」と表記しています。

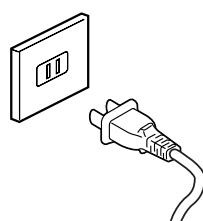


接続先のコンセントには「平行 2 極接地極付プラグ (125V15A) 用コンセント」をご利用ください。本書では「コンセント」と表記しています。

※「接地用口出線」とはアース線、「接地極」とはアースネジのことです。

次の液晶ディスプレイには、ACアダプタが添付されています。

- ・ 19型液晶ディスプレイ (TVチューナー内蔵)
- ・ 17型液晶ディスプレイ (TVチューナー内蔵)



これらの液晶ディスプレイに添付されているACアダプタの、ACケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。本書では「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ (125V15A) 用コンセント」をご利用ください。本書では「コンセント」と表記しています。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

 重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
 参考	参照先を記述しています。
 マニュアル	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
 サービスアシスタント	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 <ul style="list-style-type: none">キーボードの「サポート」ボタンを押す「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント(マニュアル&サポート)」の順にクリック
 CD-ROM / DVD-ROM	CD-ROM / DVD-ROM を表しています。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

正式名称	このマニュアルでの表記
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows XP Home Edition Windows
情報処理機器の省エネルギー化推進に関する法律	省エネ法
スーパーマルチドライブ	CD/DVD ドライブ
高画質化機能搭載MPEG2リアルタイムエンコーダ付TVチューナーカード	高画質ハードエンコーダ付 TV チューナーカード
抗菌キーボード [注] 注：抗菌処理部分：キーボードのキートップ部分 (キーボードのキートップ部分に刻印された文字およびワンタッチボタンは除く)	キーボードまたは ワイヤレスキーボード
ワイヤレスマウス（光学式）	マウスまたはワイヤレスマウス
富士通サービスアシスタント V3.2	サービスアシスタント
Norton AntiVirus™ 2005	Norton AntiVirus
外部デジタルチューナー、BS／CS／CATVチューナー、ケーブルテレビ会社用のホームターミナル	セットトップボックス
xD-Picture Card™	xD-ピクチャーカード

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

商標および著作権について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

AMD、AMD Arrow ロゴ、AMD Athlon、ならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices Inc. の商標です。
SD カードおよび SD ロゴは、SD ASSOCIATION の商標です。

「メモリースティック」、「マジックゲート」は、ソニー株式会社の商標です。

xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™は富士写真フィルム株式会社の商標です。

Bluetooth® は、Bluetooth SIG の商標であり、弊社へライセンスされています。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付のCD-ROM/DVD-ROMなどは大切に保管してください

これらのディスクは、本製品に入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

- 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、B S アナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

- 本製品には、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスクなど）が含まれています。
有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、1日約8時間のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。
長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期に部品交換が必要となる場合があります。

製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。

部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
(バッテリーパックや乾電池などの消耗品は、お客様ご自身で新品を購入し、交換していただきます。)

- 本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

本製品の使用環境は、温度10～35℃／湿度20～80%RH（動作時）、温度-10～60℃／湿度20～90%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じことがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電电源装置などを使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会のパソコンコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

当社は、国際エネルギー・スタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギー・スタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



本製品には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及び他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

現在一部のプログレッシブ対応テレビは、本製品と完全な互換性が取れていませんため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合には、本製品の出力をインターレースに切り換えてください。また、プログレッシブ対応テレビと本製品との互換性についてご質問のある場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までお問い合わせください。

ドルビー、DOLBY、AC-3、プロロジック及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含有されています。

- ・キーボードのキートップ（ワンタッチボタンを除く）には、抗菌樹脂を使用しております。
- ・抗菌樹脂は、通常の樹脂に比べ、付着した各種雑菌の繁殖を低減するものですが、完全に抑止するものではありません。
- ・抗菌樹脂には殺菌作用はありません。
- ・試験機関：(財) 化学技術戦略推進機構 高分子試験・評価センター
- ・試験方法：JIS Z 2801
- ・抗菌の方法：抗菌剤の部品材料への練り込み

注：抗菌処理部分：キーボードのキートップ部分（キーボードのキートップ部分に刻印された文字およびワンタッチボタンは除く）

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。
また、本製品をお使いになるときは、各マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

異常や故障のとき

⚠ 警告



- パソコン本体の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにパソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、パソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- 本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。

感電・火災の原因となります。

修理や点検などが必要な場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。



- 液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

けがの原因となります。

液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。



- 乾電池が液漏れし、漏れ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

失明など障害の原因となります。

液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。

皮膚に障害を起こす原因となります。



- 長時間使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出しておいてください。万一乾電池が液漏れし、漏れ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

失明など障害の原因となります。

液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。

皮膚に障害を起こす原因となります。

設置されるとき

⚠ 警告



- ・安全のため、電源プラグにはアース線がついています。コンセントに電源プラグを差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。
アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。
- アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格を持つ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。
- 電源コードを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。



- ・アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
火災の原因となります。



- ・本製品は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。
- 万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。



その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・電源プラグは、家庭用電源（AC100V）に接続してください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・添付の電源ケーブル以外は使用しないでください。
また、添付の電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・周辺機器の取り付けや取り外しを行う場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。
感電・火災または故障の原因となります。



- ・周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。



- ・取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



- ・梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



- ・本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因となります。



- ・振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下して、けがの原因となります。

⚠ 注意



- ・指定外の機器をパソコン本体に接続して電源を取らないでください。
火災・故障の原因となることがあります。



- ・周辺機器などの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。
指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。



- ・CD/DVD、PC カードなどのトレイやスロット、モデムや LAN のコネクタなど、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。
けが・感電の原因となることがあります。



- ・本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。



- ・本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。



- ・本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどを外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。
電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

ご使用になるとき

⚠ 警告



- ・AC アダプタの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。



- ・電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。
修理は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。



- ・本体カバーを外した状態で電源プラグをコンセントに差し込んだり、電源を入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・近くで落雷のおそれがある場合は、パソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、モジュラーケーブルやアンテナケーブルをコネクタから抜いてください。
そのまま使用すると、落雷による感電・火災の原因となります。



- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



- ・電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・AC アダプタや電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。
火災・故障の原因となることがあります。



- ・添付もしくは指定された以外の AC アダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の AC アダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。

- ・開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。
- ・本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。
また、本製品の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となります。
- ・病院内や医用電気機器のある場所では無線通信機能を OFFにしてください。特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
無線通信機能からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- ・本製品を使用したり持ち運んだりする場合は、心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離してください。もしくは、本製品の電源を切るか無線通信機能をオフにしてください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を及ぼす原因となります。
- ・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所や、自動ドア・火災報知器などの自動制御機器の近くでは、無線通信機能をオフにしてください。
誤動作による事故の原因となります。
- ・乾電池を充電しないでください。
電池の破裂・液もれ・発火の原因となります。
- ・乾電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂・液漏れ・発火の原因となります。
- ・指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混せて使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ・乾電池にハンダ付けをしないでください。
加熱することにより電池が損傷し、液漏れ・発熱・破裂の原因となります。
- ・本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。
- ・パソコン本体や AC アダプタの温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。
低温やけどの原因になります。

⚠ 注意



- ・電源ケーブルを束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。



- ・電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。



- ・電源ケーブルは壁のコンセントに直接接続してください。
延長ケーブルなどを使用すると、火災の原因となることがあります。



- ・パソコン本体内部の突起物、および指定されたスイッチ以外には、手を触れないでください。
けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。



- ・電話回線、ISDN 回線、ADSL 回線、LAN などの差し込み口（モジュラージャックコネクタ）に指などを入れないでください。
感電の原因となることがあります。



- ・「PC カード」、「SD カード」、「メモリースティック」、「xD- ピクチャーカード」の使用終了直後は、「PC カード」、「SD カード」、「メモリースティック」、「xD- ピクチャーカード」が高温になっていることがあります。「PC カード」、「SD カード」、「メモリースティック」、「xD- ピクチャーカード」を取り出すときは、使用後しばらく待ってから取り出してください。
火傷の原因となることがあります。



- ・使用中のパソコン本体や AC アダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。パソコン本体と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけてください。また、排気孔などの開口部をふさがないでください。

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- ・CD/DVD ドライブのレーザー光の光源部を直接見ないでください。
目を傷める原因となることがあります。



- ・ヘッドホンやイヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



- ・電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホンやイヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。

突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



- ・乾電池には以下のことをしないでください。破裂・液漏れ・火災・けが・周囲を汚す原因となります。

 - ・ショートさせる
 - ・加熱したり、火の中に入れる
 - ・端子部分をぬらしたり、水の中に入れる
 - ・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与える



- ・本製品は次のような姿勢や環境で使用し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10 ~ 15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止を取るようにしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。

・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいうように調節する。

・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。

・いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。

・手首や腕、ひじは机やいすのひじかけなどで支えるようにする。

・キーボードやマウスは、ひじの角度が 90 度以上になるように使用する。



- ・1 時間に 10 ~ 15 分程度の休憩をとってください。また、なるべく画面を下向きに見るよう調整する、意識的にまばたきをする、場合によっては目薬をさすなどしてください。

画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の目の傷害の原因となることがあります。



- ・本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。乾電池を取り外せる場合は、乾電池も取り外してください。

火災の原因となることがあります。

お手入れについて

⚠ 警告



- ・ AC アダプタや電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取ってください。
ほこりがたまつたままの状態で使用すると火災の原因となります。

レーザーの安全性について

本製品に搭載されている CD/DVD ドライブは、レーザーを使用しています。

クラス 1 レーザー製品

CD/DVD ドライブは、クラス 1 レーザー製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則（DHHS 21 CFR）Subchapter J に準拠しています。

また、クラス 1 レーザー製品の国際規格である（IEC 60825-1）、CENELEC 規格（EN 60825-1）および、JIS 規格（JISC6802）に準拠しています。

⚠ 警告



- ・ お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。
本装置は、レーザー光線を遮断する安全な構造になっていますが、分解したり修理・改造したことで、レーザー光線が装置外にもれて目に照射され、視力障害の原因となります。
- ・ 本装置は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線をのぞきこまないでください。
レーザー光線が目に照射されると視力障害の原因になります。

その他

⚠ 注意



- ・ 本製品（付属品を含む）の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。
本製品は「廃棄物の処理および清掃に関する法律」の規制を受けます。
ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスなどには乾電池を使用しており、一般のゴミと一緒に火中に投じられると乾電池が破裂するおそれがあります。
使用済み乾電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

目次

この本で見つからない情報は、「画面で見るマニュアル」で！

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→
「 富士通サービスアシスタント(マニュアル&サポート)」の「画面で見るマニュアル」

このマニュアルの表記について	3
安全上のご注意	7

第1章 各部名称

1 パソコン本体前面	16
2 パソコン本体背面	17
3 パソコン本体内部	18
4 ワンタッチボタン	19

第2章 使い始める前に

1 確認してください	22
機種名を確認してください	22
添付品がすべて揃っているか確認してください	22
2 使用上のお願い	23
使用および設置に適した場所	23
使用および設置に適さない場所	24
パソコン本体取り扱い上の注意	25
パソコンの疲れにくい使い方	26
落雷の恐れがあるときの注意	27
液晶ディスプレイのお手入れ	27
3 必要なものを揃える	28
パソコン本体の箱に入っています	28
ディスプレイの箱に入っています	29
別途ご用意ください	30

第3章 接続する

1 フット（縦置き用設置台）を取り付ける	32
縦置きでお使いになる場合のみ	
2 キーボード／マウスを準備する	35
3 ディスプレイを接続する	36
4 アンテナケーブルを接続する	37
5 リモコンを準備する	41
リモコンに乾電池を入れる	41
6 電源ケーブルを接続する	42
液晶ディスプレイ用 AC アダプタを接続する	42
パソコン本体用電源ケーブルを接続する	44

第4章 パソコンを準備する

1 初めて電源を入れる	46
接続を確認する	46
初めて電源を入れる～Windows のセットアップ	48
2 電源の切り方と入れ方	62
電源を切る	62
電源を入れる	65
3 インターネットを始めるための準備をする	67
初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策	67
インターネット接続の設定	67
4 Windows を最新の状態にする	69
「Windows Update」を実行する	69
5 ウイルス対策ソフトの初期設定をする	72

「Norton AntiVirus」の初期設定	72
6 ユーザー登録をする	78
ユーザー登録をするとご利用になれるサービス	78
パソコンの画面上でユーザー登録する	79
7 準備が完了したら	80
パソコンの準備はすべて完了していますか?	80
パソコンの準備が完了したら『FMV 活用ガイド』へ	81
テレビについて知りたいときは『FMV で見る・録る・残すガイド』へ	82
このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行する場合	83

第5章 周辺機器の設置／設定／増設

1 周辺機器をお使いになる前に	86
周辺機器とは?	86
周辺機器を取り付けると	86
周辺機器を取り付けるには	86
周辺機器の取り扱い上の注意	87
2 本体カバーを取り外す／取り付ける	89
本体カバーを取り外す	90
本体カバーを取り付ける	92
3 メモリの増設／交換	93
メモリの取り付け場所	93
取り付けられるメモリ	94
メモリの取り扱い上の注意	95
メモリを増やす	96
メモリ容量を確認する	98
4 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定	100
使用に適した配置	100
乾電池について	101
乾電池を交換する	102
ID 設定をする	102
5 リモコンについて	105
乾電池を交換する	105
リモコンをお使いになる場合の注意	105

第6章 仕様一覧

1 パソコン本体の仕様	108
仕様一覧の注記について	110
2 その他の仕様	111
LCD 内蔵スピーカー	111
LAN 機能	111
高画質ハードエンコーダ付 TV チューナーカード	112
リモコン	112
ワイヤレスキーボード（ワントッチボタン付、105 キー、無線方式、抗菌）	113
ワイヤレスマウス（光学式）	113

索引	115
-----------------	------------



第1章

各部名称

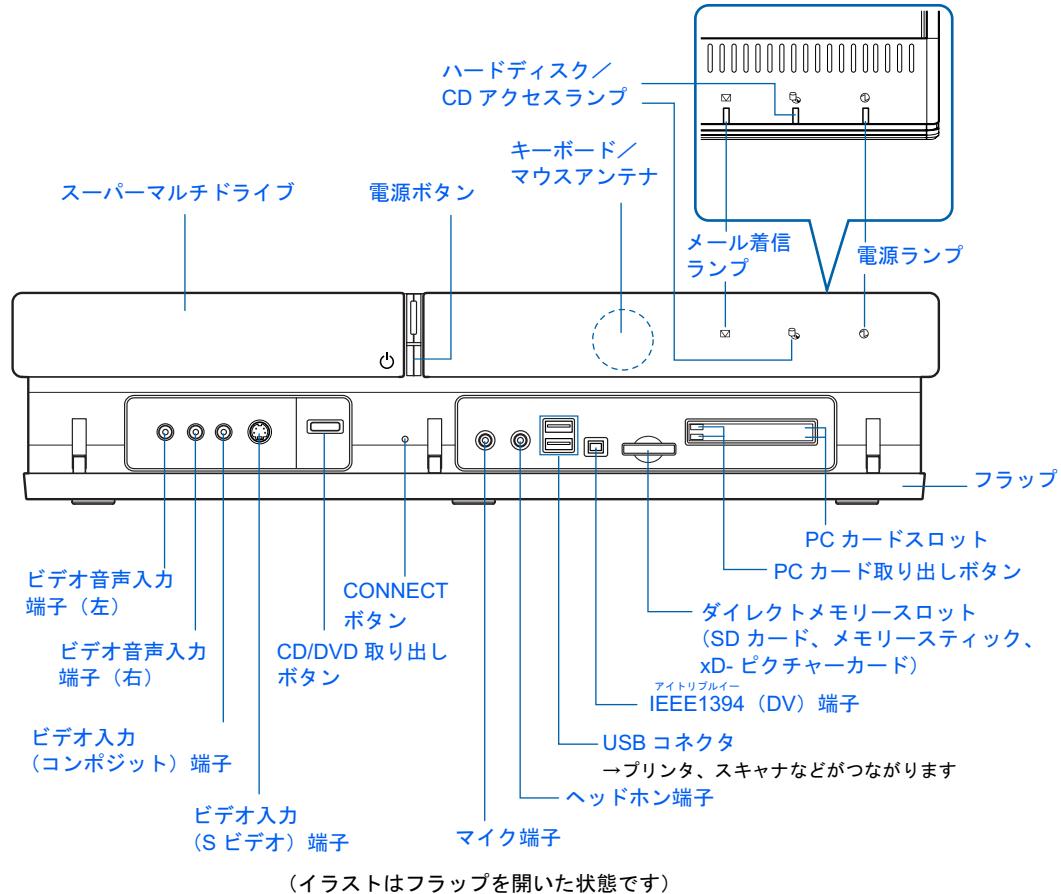
パソコンの各部の名称について説明しています。

ディスプレイの各部名称については、（サービスアシスタンス）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「2. 関連するマニュアル」→「液晶ディスプレイ」をご覧ください。

1 パソコン本体前面	16
2 パソコン本体背面	17
3 パソコン本体内部	18
4 ワンタッチボタン	19

1 パソコン本体前面

機種名の調べ方は、「機種名を確認してください」(☞P.22)をご覧ください。



重要

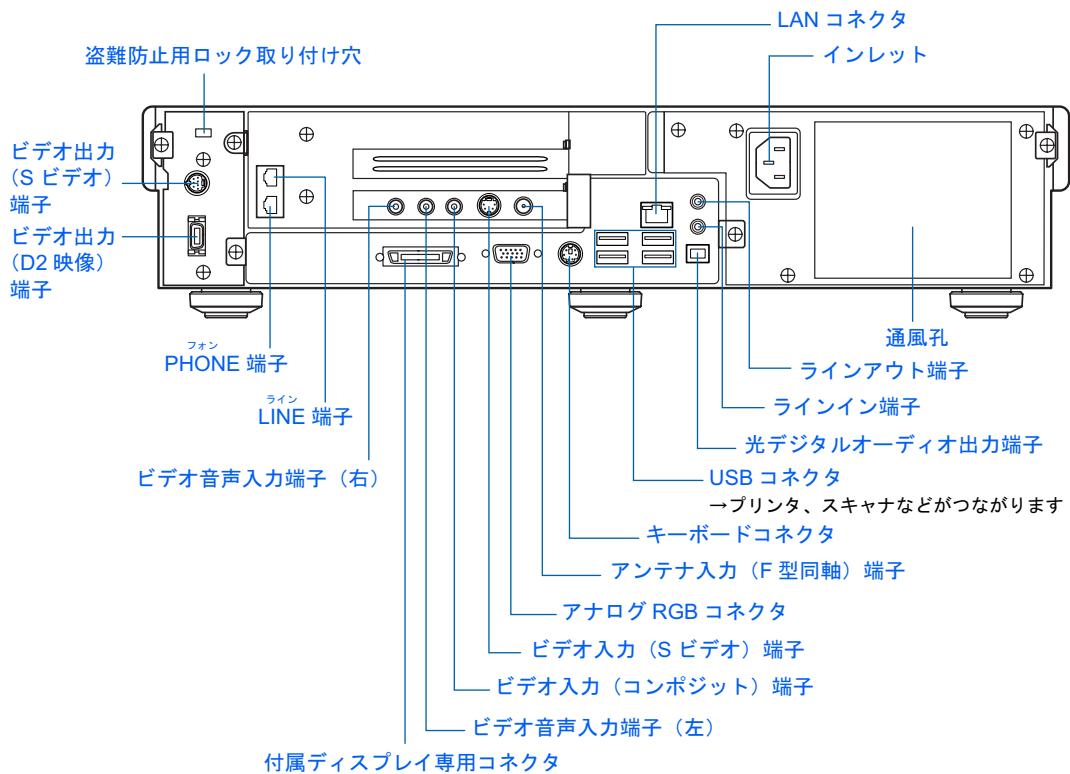
メモリーカードを取り出すときの注意

- ・ダイレクトメモリースロット (SD カード、メモリースティック、xD- ピクチャーカード) からメモリーカードを取り出す場合は、メモリーカードを強く押さないでください。指を離したときメモリーカードが飛び出し、紛失したり、衝撃で破損したりするおそれがあります。
また、メモリーカードを引き抜くときは、ひねったり斜めに引いたりして、メモリーカードに無理な力がかからないようにしてください。
- ・メモリーカードを取り出すときは、ダイレクトメモリースロット (SD カード、メモリースティック、xD- ピクチャーカード) を人に向けたり、顔を近づけたりしないでください。メモリーカードが飛び出すとき、思わぬけがをするおそれがあります。

詳しくは、☞(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」をご覧ください。

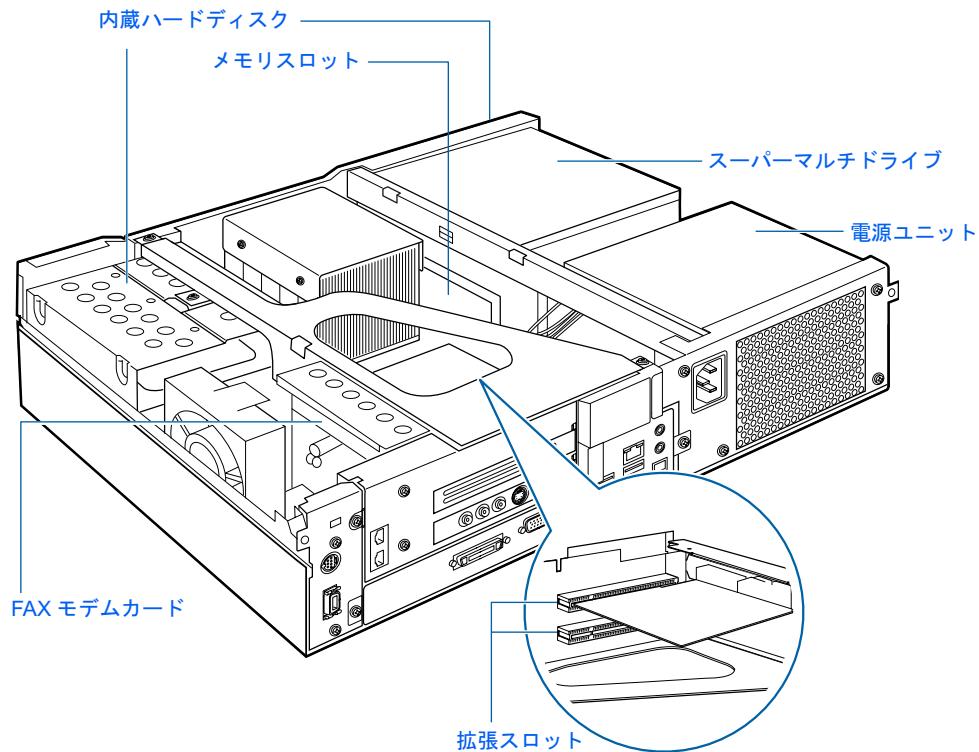
2 パソコン本体背面

1



詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面 → 「画面で見るマニュアル」 → 「7. パソコン本体の取り扱い」 → 「各部の名称と働き」 → 「各部の名称と働き：パソコン本体背面」をご覧ください。

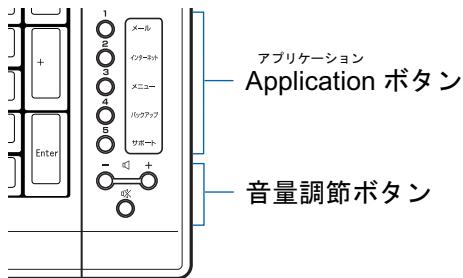
3 パソコン本体内部



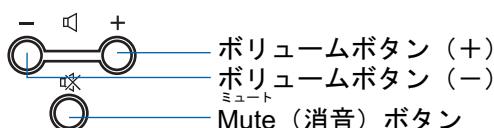
詳しくは、**(サービスアシスタント)**のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体内部」をご覧ください。

本体カバーの取り外し／取り付け方法については、「本体カバーを取り外す／取り付ける」(☞P.89) または**(サービスアシスタント)**のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「8. 周辺機器の接続」→「本体カバーを取り外す／取り付ける」をご覧ください。

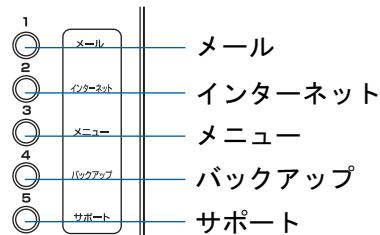
4 ワンタッチボタン



■音量調節ボタン



■Application ボタン



詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：ワンタッチボタン」をご覧ください。

キーボードについては、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：キーボード」をご覧ください。

Memo

2

第2章 使い始める前に

最初に確認していただきたいことと、使用上の注意事項などを説明しています。

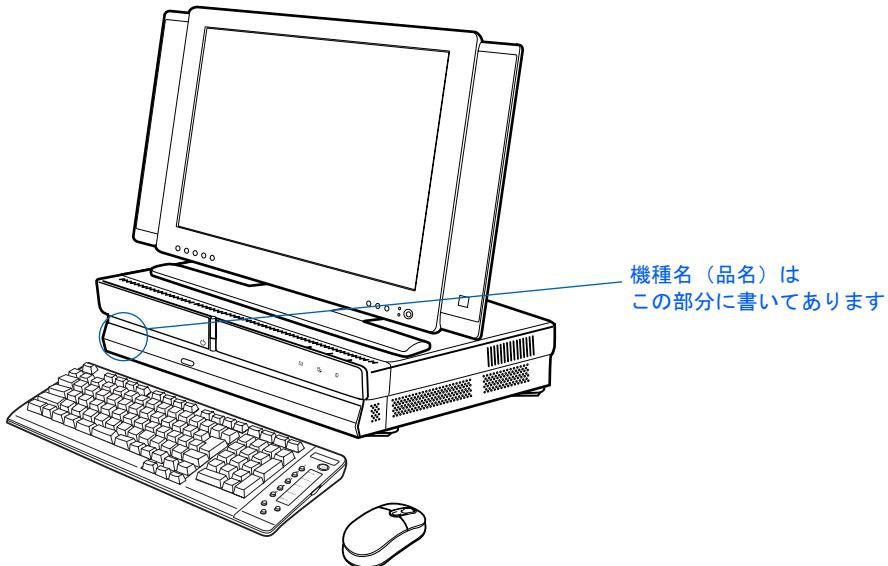
1 確認してください	22
2 使用上のお願い	23
3 必要なものを揃える	28

1 確認してください

最初に確認していただきたいことを説明します。

機種名を確認してください

お使いの機種によって、マニュアルを読む箇所が異なります。お使いのパソコンの機種名（品名）を確認しましょう。



添付品がすべて揃っているか確認してください

「箱の中身を確認してください」をご覧になり、添付品をもう一度ご確認ください。

ご購入後 1ヶ月以内のハードウェアトラブルや添付品の不足に関するお問い合わせは、「富士通パソコン診断センター」にご連絡ください。1ヶ月を過ぎると、有料となる場合やご提供できないものもありますのであらかじめご了承ください。富士通パソコン診断センターについては、「箱の中身を確認してください」裏面をご覧ください。



(機種により若干異なります)

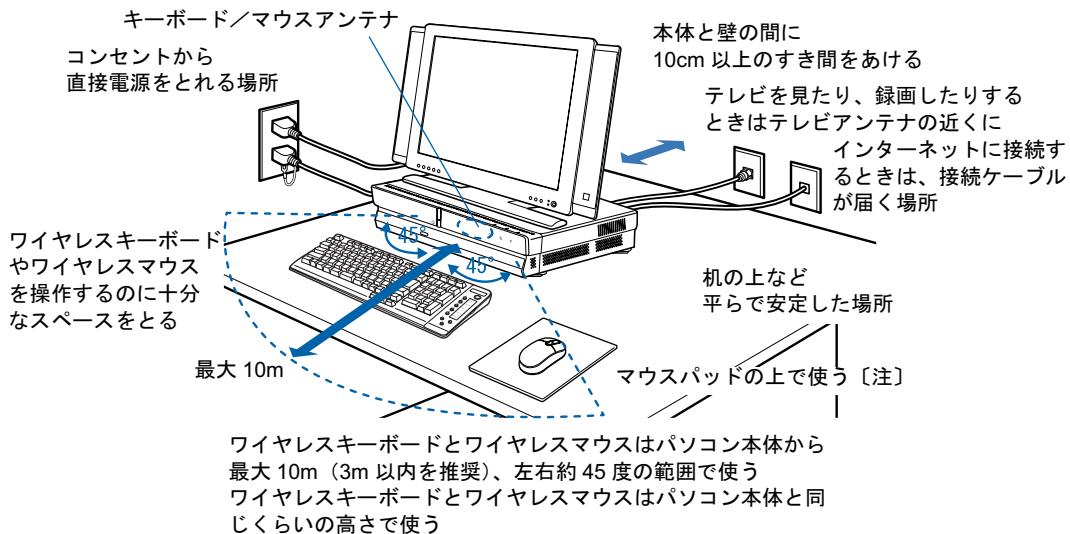
2 使用上のお願い

設置するのに適した場所や適さない場所、パソコン本体の取り扱い上の注意について説明します。

使用および設置に適した場所

パソコンは、次のような場所でお使いください。

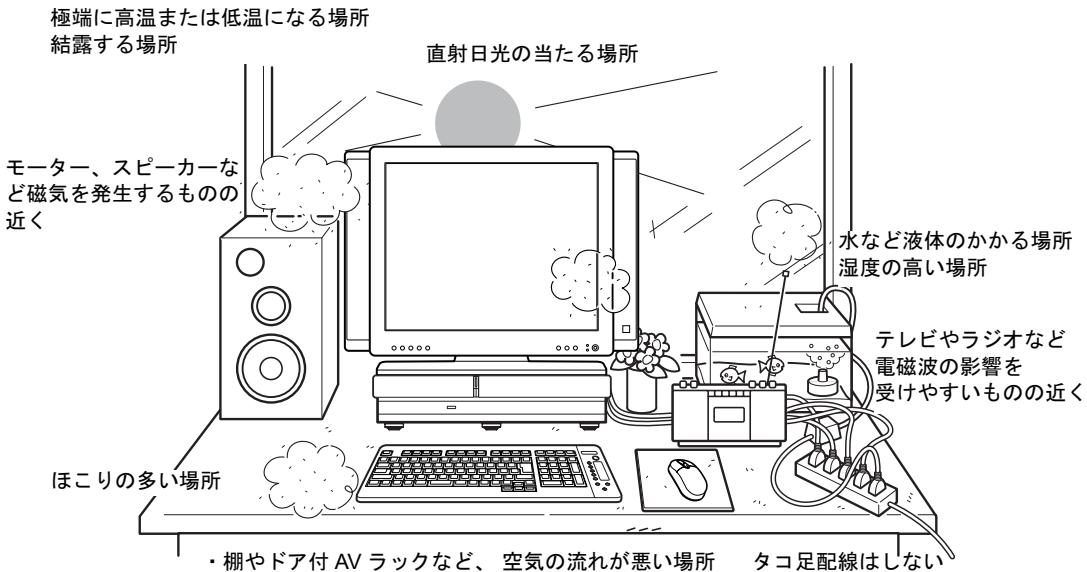
ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。信号を受けるキーボード／マウスアンテナはパソコン本体に内蔵されています。



注：光学式マウスに関しては「光学式マウスをお使いになるまでの注意事項」(☞P.52) もご覧ください。

使用および設置に適さない場所

誤動作や故障の原因となるため、次のような場所ではお使いにならないでください。



POINT

- 本製品の使用環境は温度 10 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 90% RH (非動作時) です。
- 結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。
温度の低い場所 (クーラーの効いた場所、寒い屋外など) から、温度の高い場所 (暖かい室内、炎天下の屋外など) へ移動したときに起こります。
結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 本製品を腐食性ガス (温泉から出る硫黄ガスなど) が存在する場所で使用すると、本製品が腐食する可能性がありますので、ご注意ください。
- 本製品のそばで喫煙をすると、タバコのヤニや煙がパソコン内部に入り、CPU ファンなどの機能を低下させる可能性がありますので、ご注意ください。
- 本製品の通風孔がほこりなどにより目詰まりすると、空気の流れが悪くなり、CPU ファンの冷却効果を低下させる可能性がありますので、掃除機などで定期的に通風孔のほこりを取ってください。

電波の影響を受ける環境でお使いになる場合

次のような環境でお使いになると、周囲からの電波の影響を受けて、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスがうまく動作しないことがあります。

- パソコン本体をスチール机やスチール棚のような金属製の台の上に載せている
- パソコン本体と、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスの間に電気・電子機器や金属製のものを置いている
- 周囲でノイズ源となる電気・電子機器 (無線機器を含む) を使用している
- 周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している機器がある (このパソコンを複数台でお使いの場合、無線局の近隣でお使いの場合、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合など)
- パソコン本体を電子レンジの近くに置いている

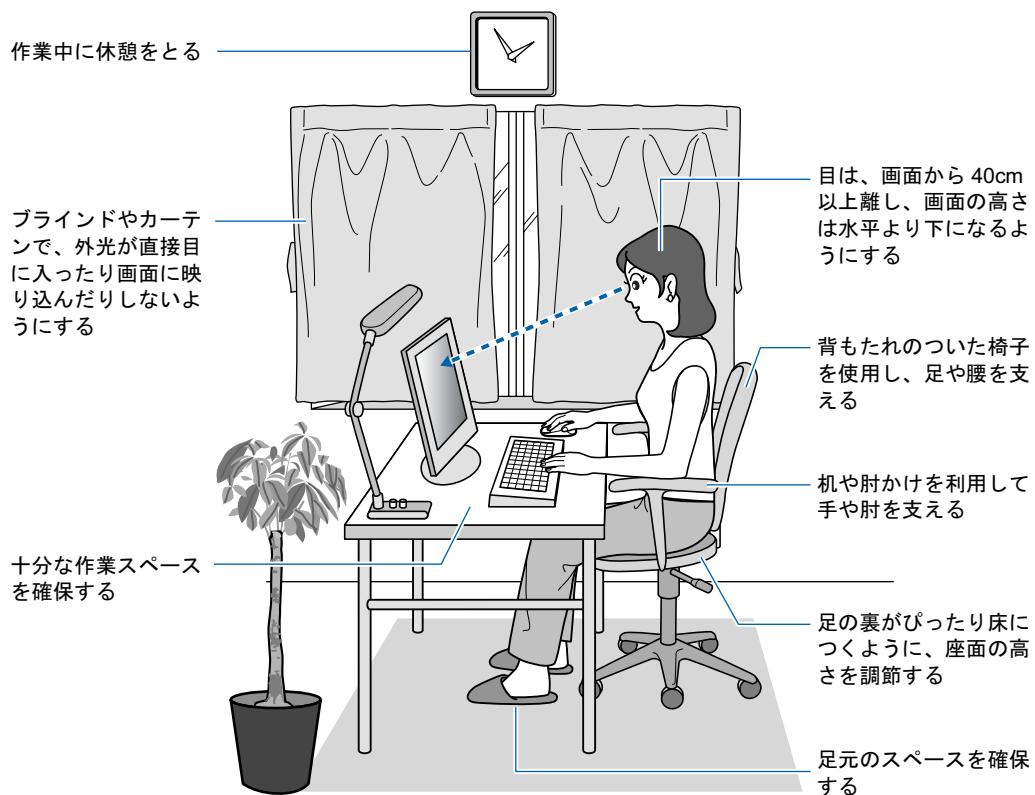
このような場合には、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの ID を設定しなおすと、動作する場合もあります。詳しくは、「ID 設定をする」(▶P.102) をご覧ください。

パソコン本体取り扱い上の注意

- ・衝撃を与えたいたり強い力で押したりしないでください。故障の原因となることがあります。
- ・画面をひつかいたり、先のとがったもので押さないでください。画面に傷がつく原因になります。
- ・スピーカー前面を強い力で押したりしないでください。スピーカーが破損する原因となることがあります。
- ・画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- ・本製品の近くで携帯電話や PHS などを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてお使いください。
- ・本製品に接続したケーブル類を引っ張った状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。
- ・パソコン本体内部から聞こえる音や、パソコン本体が発する熱について
本製品をご使用中には、パソコン本体内部の熱を外に逃がすためのファンの音や、ハードディスクドライブがデータを書き込む音、CD/DVD が回転する音などが聞こえます。また、本製品の使用中に、パソコン本体が熱を持つために熱く感じられることがあります。これらは故障ではありません。
- ・パソコン本体を縦置きでお使いになる場合は、必ずフット（縦置き用設置台）を取り付けてください。フット（縦置き用設置台）を取り付けないと、バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- ・周辺機器は、弊社純正品をお使いください。
- ・本製品は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。

パソコンの疲れにくい使い方

パソコンを長い時間使い続ければ、目が疲れ、首や肩が痛くなり、腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いの際は姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。



POINT

富士通では、独立行政法人産業医学総合研究所の研究に協力し、その成果が「パソコン利用のアクション・チェックポイント」としてまとめられています。
詳しくは、富士通ホームページ (<http://design.fujitsu.com/jp/universal/ergo/vdt/>) の解説をご覧ください。

ディスプレイ

- ・外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないように、窓にブラインドやカーテンを取り付けたり、画面の向きや角度を調整しましょう。
- ・画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調整しましょう。
- ・ディスプレイの上端が目の位置と同じかやや低くなるように設定しましょう。
- ・ディスプレイの画面は、顔の正面にくるように調整しましょう。
- ・目と画面の距離は、40cm以上離すようにしましょう。

使用時間

- ・1時間以上続けて作業しないようにしましょう。続けて作業をする場合には、1時間に10～15分程度の休憩時間をとりましょう。また、休憩時間までの間に1～2分程度の小休止を1～2回取り入れましょう。

入力機器

- ・キーボードやマウスは、ひじの角度が90度以上になるようにして使い、手首やひじは机、椅子の肘かけなどで支えるようにしましょう。

机と椅子

- ・高さが調節できる机や椅子を使いましょう。調節できない場合は、次のように工夫しましょう。
 - 机が高すぎる場合は、椅子を高く調節しましょう。
 - 椅子が高すぎる場合は、足置き台を使用し、低すぎる場合は、座面にクッションを敷きましょう。
- ・椅子は、背もたれ、肘かけ付きを使用しましょう。

作業スペース

- ・机上のパソコンの配置スペースと作業領域は、十分確保しましょう。
- ・スペースが狭く、腕の置き場がない場合は、椅子の肘かけなどを利用して腕を支えましょう。

落雷の恐れがあるときの注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源スイッチを切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておくことをお勧めします。

落雷には、直撃雷と誘導雷の2種類ありますが、パソコンの故障は主に誘導雷によって起ります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、テレビのアンテナ線、外部機器との接続ケーブル、電話線（モジュラーケーブル）、LANケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

場合によっては、パソコン本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

液晶ディスプレイのお手入れ

- ・液晶ディスプレイの汚れは、ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ・液晶ディスプレイの画面部分は、水および中性洗剤を使わないでください。
- ・化学ぞうきんや市販クリーナーは以下の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。
 - アルカリ性成分を含んだもの
 - 界面活性剤を含んだもの
 - アルコール成分を含んだもの
 - シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
 - 研磨剤を含むもの

詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「2. 関連するマニュアル」→「液晶ディスプレイ」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windowsのセットアップ（P.49）が終了してからご利用ください。

3 必要なものを揃える

必要なものをあらかじめ揃えてから、第3章へ進みましょう。

パソコン本体の箱に入っています

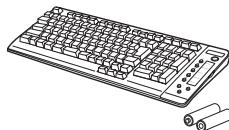
機種名の調べ方は、「機種名を確認してください」(⇒P.22)をご覧ください。

注：イラストは実際と若干異なる場合があります。

■パソコン本体



■ワイヤレスキーボード 単3アルカリ乾電池×2

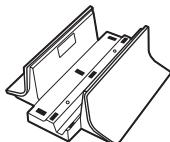


■ワイヤレスマウス（光学式） 単3アルカリ乾電池×2

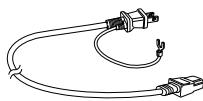


■フット（縦置き用設置台） ■パソコン本体用

注：シールが同梱されています



電源ケーブル



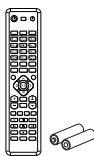
■保証書



梱包箱に貼り付けられています。

■リモコン

単3マンガン乾電池×2



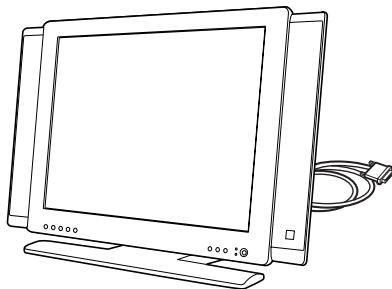
(イラストは機種や状況により異なります)

ディスプレイの箱に入っています

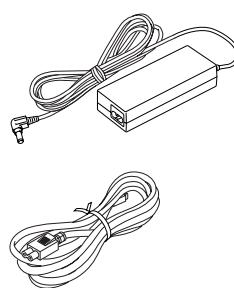
機種名の調べ方は、「機種名を確認してください」(⇒P.22)をご覧ください。
注：イラストは実際と若干異なる場合があります。

H70L9V の場合

■ 19型液晶ディスプレイ
(TVチューナー内蔵)



■ ACアダプタと
ACケーブル

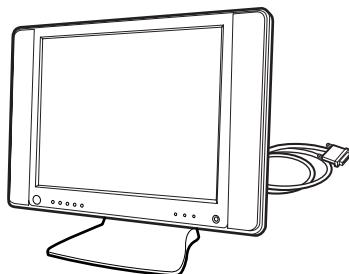


■ 同軸ケーブル

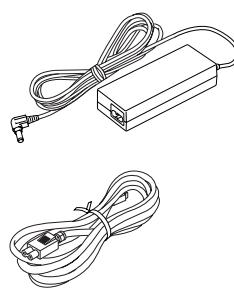


H70L7V の場合

■ 17型液晶ディスプレイ
(TVチューナー内蔵)



■ ACアダプタと
ACケーブル



■ 同軸ケーブル



別途ご用意ください

■アンテナケーブル



重要

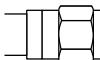
アンテナケーブル類はお客様に別途ご用意いただきます

アンテナケーブル、同軸ケーブル、変換コネクタ、V/U ミキサなどは添付されていません。お客様でご用意ください。また、ケーブルは適切な長さのものをご用意ください。

アンテナ設置については、最寄りの電器店にお問い合わせください。

ネジ式のF型コネクタプラグをお使いください

アンテナケーブルとパソコンの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式のF型コネクタプラグのご使用をお勧めします。F型コネクタプラグの取り付け方については、F型コネクタプラグのマニュアルをご覧になるか、電器店にお問い合わせください。



F型コネクタプラグ

F型コネクタプラグ以外で接続する場合は、次の点にご注意ください

- ・コネクタの形状（大きさ）によっては、パソコン本体に干渉して接続できない場合があります。
また、Sビデオケーブルなどの他のケーブルを同時に接続できない場合があります。
- ・ネジ式のF型コネクタプラグに比べノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

続いて、パソコンの接続をしましょう（☞P.31）。

3

第3章

接続する

パソコンの接続について説明しています。

1 フット（縦置き用設置台）を取り付ける	32
縦置きでお使いになる場合のみ	
2 キーボード／マウスを準備する	35
3 ディスプレイを接続する	36
4 アンテナケーブルを接続する	37
5 リモコンを準備する	41
6 電源ケーブルを接続する	42

⚠ 警告



- ・周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

⚠ 注意



- ・使用中のパソコン本体やACアダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。パソコン本体と壁の間に10cm以上のすき間をあけてください。
また、排気孔などの開口部をふさがないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

1 フット（縦置き用設置台）を取り付ける

縦置きでお使いになる場合のみ

このパソコンは、縦置きでも使えます。パソコン本体を縦置きでお使いになる場合、次の手順で必ずフット（縦置き用設置台）を取り付けてください。パソコン本体を横置きでお使いになる場合は、フット（縦置き用設置台）を取り付ける必要はありません。

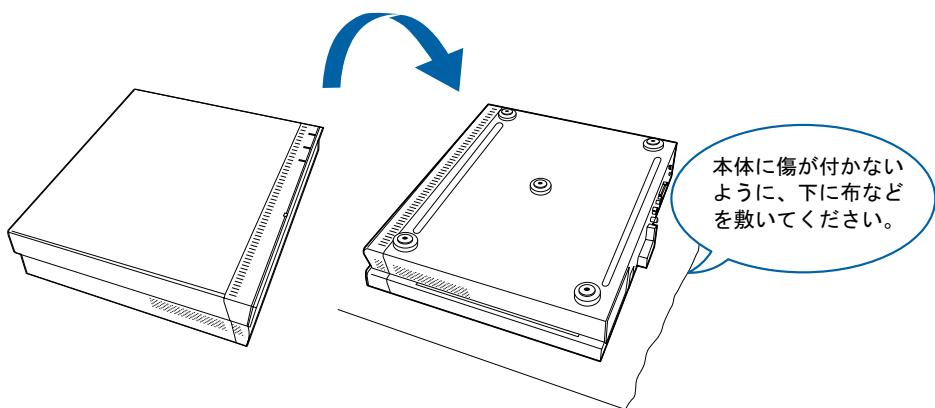


必ず添付のフット（縦置き用設置台）を取り付けてください

フット（縦置き用設置台）を取り付けないと、転倒して故障の原因となることがあります。

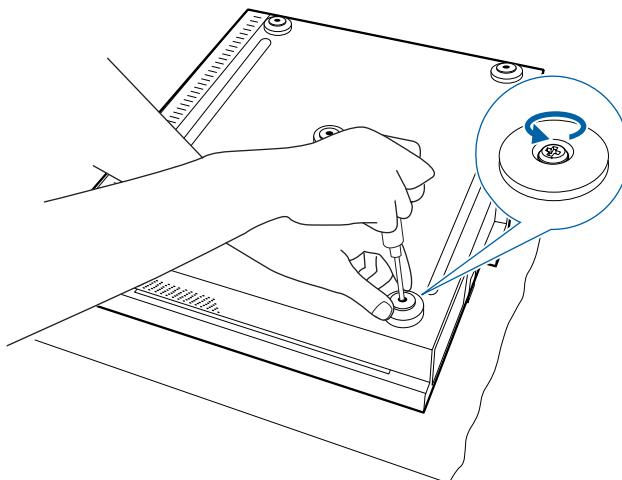
1 パソコン本体を上下さかさまにします。

テーブルなどの平らな面に置いてください。パソコン本体は重量があります。パソコン本体を動かすときは注意してください。



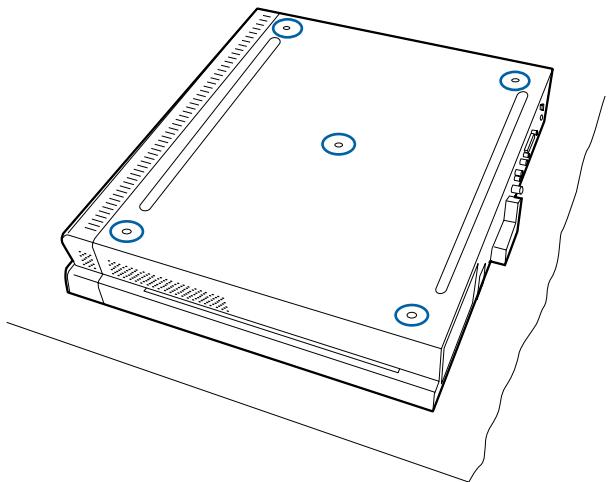
2 パソコン本体下面にあるフット（横置き用）を外します。

フット（横置き用）のネジ（5ヶ所）をプラスドライバーで回して外します。
取り外したフット（横置き用）は大切に保管しておいてください。



3 添付のシールを貼ります（5ヶ所）。

シールは、フット（縦置き用設置台）に同梱されています。

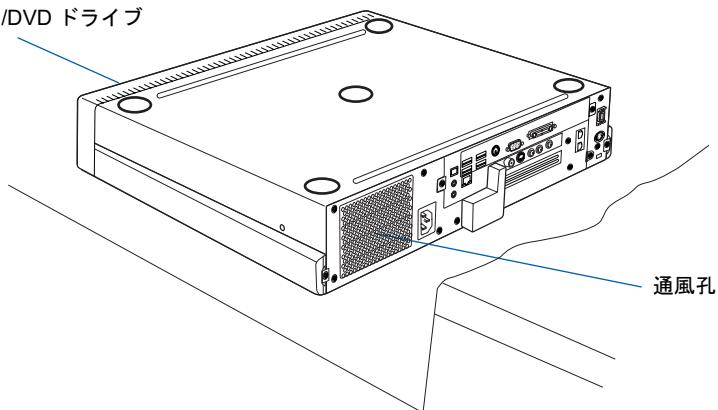


3

4 テーブルなどの平らな面に、パソコン本体左側面が少しばみ出るように置きます。

パソコン本体を縦置きでお使いになるときは、CD/DVD ドライブが下になるように設置します。

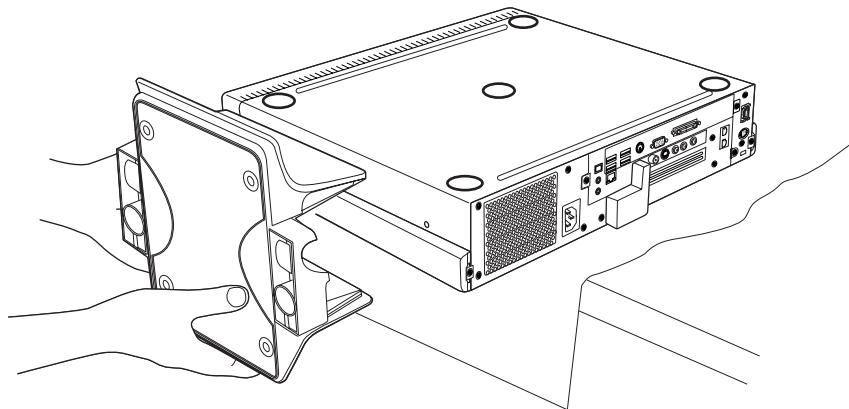
CD/DVD ドライブ



次のページへ

5 パソコン本体にフット（縦置き用設置台）を取り付けます。

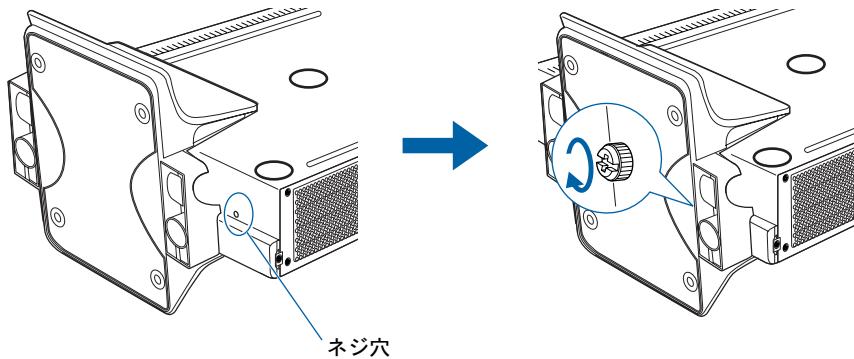
フット（縦置き用設置台）の内側に溝がある方を上にして取り付けます。



6 フット（縦置き用設置台）のネジを締めます。

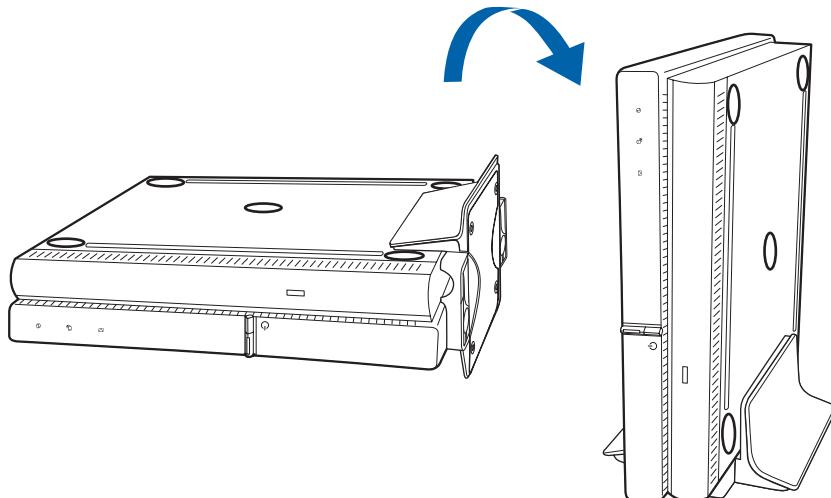
フット（縦置き用設置台）の裏側に付いているネジで左右2ヶ所に取り付けます。

パソコン本体のネジ穴とフット（縦置き用設置台）のネジツマミをあわせます。ネジツマミを手で回して取り付け、プラスのドライバーでネジをしっかりと締めます。



7 パソコン本体を縦置きにします。

パソコン本体は重量があります。パソコン本体を動かすときは注意してください。



続いて、キーボード／マウスを準備しましょう（…▶P.35）。

2 キーボード／マウスを準備する

ここでは、キーボード／マウスを使用するための準備について説明しています。ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスに添付のアルカリ乾電池を入れます。

⚠ 警告



- ・乾電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れしてください。
間違えると電池の破裂・液漏れ・発火の原因となります。

☞ 重要

ご購入時はワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスのIDは設定されていません

「初めて電源を入れる～Windowsのセットアップ」(⇒P.48)の手順に従って、必ずワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスのID設定をしてください。設定を行わないと、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使用できません。

ご購入時に添付されている乾電池はお早めに交換してください

ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。詳しくは、「乾電池について」(⇒P.101)をご覧ください。

ワイヤレスマウスに乾電池を入れても光学センサーが光らない場合は

何度か乾電池を入れなおしてください。

ワイヤレスマウスを振るとカラカラという音がしますが、故障ではありません

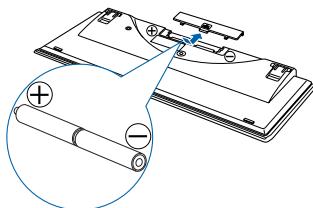
詳しくは「使用に適した配置」の「重要」(⇒P.100)をご覧ください。

3

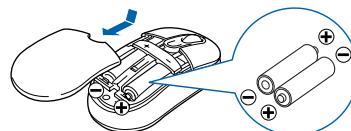
1 ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウス（光学式）の電池ボックスのふたを開け、添付のアルカリ乾電池を入れます。

ワイヤレスキーボードは、裏返して電池ボックスのふたを開けます。

■ ワイヤレスキーボード

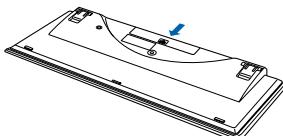


■ ワイヤレスマウス（光学式）



2 電池ボックスのふたを閉めます。

■ ワイヤレスキーボード



■ ワイヤレスマウス（光学式）



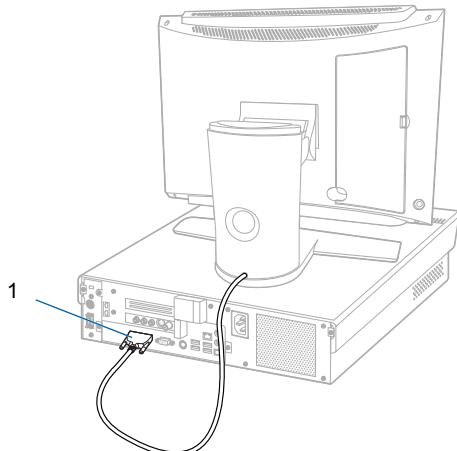
続いて、ディスプレイを接続しましょう (⇒P.36)。

3 ディスプレイを接続する

ここでは、ディスプレイの接続方法について説明します。

お使いの機種によって、ディスプレイの接続方法が異なります。

次の表をご覧になり、お使いの機種に対応する接続方法のページをご覧ください。

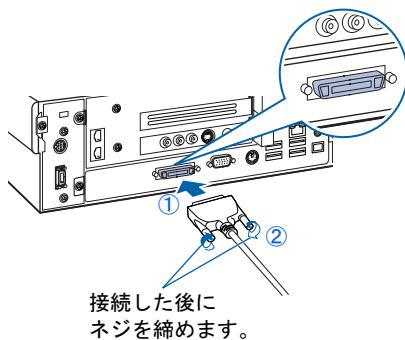


(イラストは機種や状況により異なります)

1 ディスプレイ背面から出ているケーブルをパソコン本体背面の付属ディスプレイ専用コネクタに接続します。

①コネクタと差し込み口の形状を確認して奥までしっかりと差し込み、②ネジを締めます。

■パソコン本体背面



続いて、アンテナケーブルを接続しましょう (◆P.37)。

4 アンテナケーブルを接続する

ここでは、アンテナケーブルを接続する方法について説明します。

アンテナケーブルは後からでも接続できます。アンテナケーブルを用意していない場合やこのパソコンすぐにテレビを見ない場合は、アンテナケーブルを接続する必要はありません。「リモコンを準備する」(⇒P.41)へ進んでください。

BS/CS/CATV のテレビ番組を見るためにセットトップボックスなどの外部映像機器を接続する場合は、「準備が完了したら」(⇒P.80)までの作業が終わってから、次のマニュアルをご覧ください。

- ・「TVfunSTUDIO」を使って見る場合

 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「8.周辺機器の接続」→「外部映像機器を接続する」をご覧ください。

- ・インスタントテレビ機能を使って見る場合

『インスタントテレビ機能 取扱説明書』→「お使いになる前に」→「液晶ディスプレイの接続」→「外部映像機器と接続する」をご覧ください。

⚠ 警告



- ・近くで落雷のおそれがある場合は、すべての接続作業を中止してください。
落雷による感電のおそれがあります。

⚠ 重要

アンテナケーブル類はお客様に別途ご用意いただきます

アンテナケーブル、同軸ケーブル、変換コネクタ、V/U ミキサなどは添付されていません。お客様でご用意ください。また、ケーブルは適切な長さのものをご用意ください。

アンテナ設置については、最寄りの電器店にお問い合わせください。

ネジ式のF型コネクタプラグをお使いください

アンテナケーブルとパソコンの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式のF型コネクタプラグのご使用をお勧めします。F型コネクタプラグの取り付け方については、F型コネクタプラグのマニュアルをご覧になるか、電器店にお問い合わせください。



F型コネクタプラグ

F型コネクタプラグ以外で接続する場合は、次の点にご注意ください

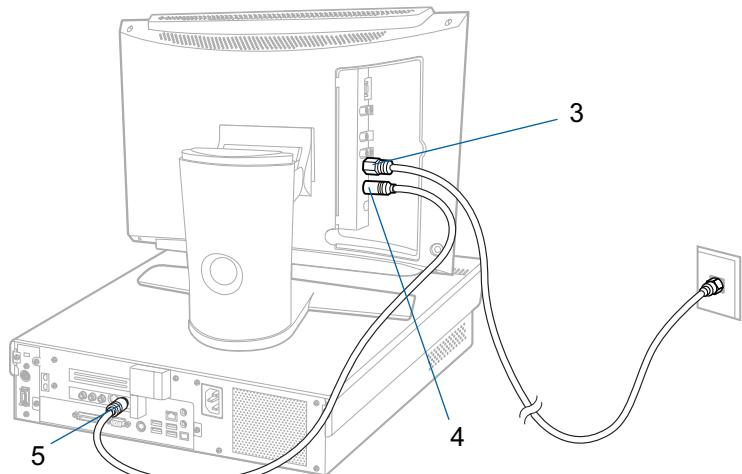
- ・コネクタの形状（大きさ）によっては、パソコン本体に干渉して接続できない場合があります。
また、Sビデオケーブルなどの他のケーブルを同時に接続できない場合があります。
- ・ネジ式のF型コネクタプラグに比べノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れことがあります。

アンテナケーブルを接続するときはパソコンの電源を切ってください

パソコンの電源を切ってから、アンテナケーブルを接続してください。

金属芯を折らないよう、ご注意ください

アンテナケーブルを接続するときは、コネクタの中心にある金属芯を折らないよう、注意してください。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

1 パソコン本体とディスプレイの電源が入っている場合は電源を切り、電源ケーブルと AC ケーブルをコンセントから抜きます。

パソコンの電源を切ると、ディスプレイの電源も切れます。

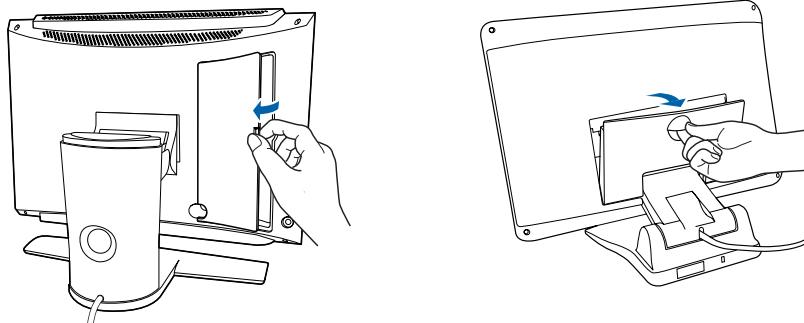
電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

2 ディスプレイ背面のカバーを取り外します。

つまみを持ってカバーを開き、取り外します。

■ 19 型液晶ディスプレイ
(TV チューナー内蔵) の場合

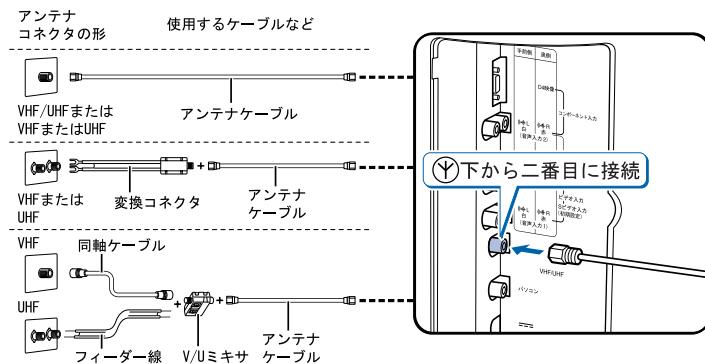
■ 17 型液晶ディスプレイ
(TV チューナー内蔵) の場合



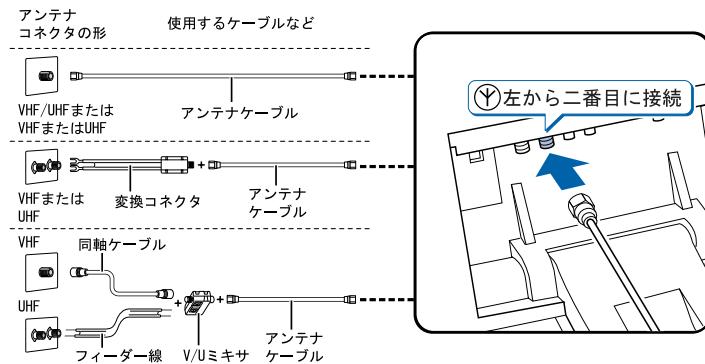
3 アンテナケーブルをディスプレイ背面のアンテナ入力端子に接続します。

接続のしかたは、壁のアンテナコネクタの形や、お使いになるケーブルによって異なります。下の図から最も近いものを選択し、必要なケーブル類を接続してください。

■ 19型液晶ディスプレイ (TVチューナー内蔵) の場合

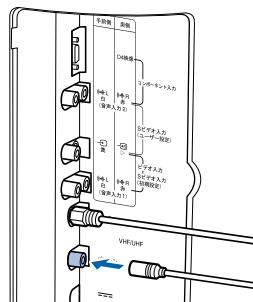


■ 17型液晶ディスプレイ (TVチューナー内蔵) の場合

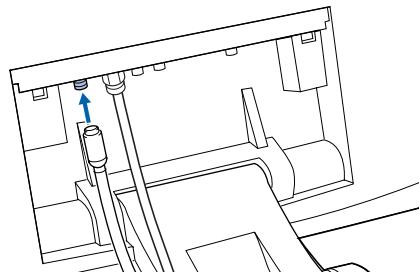


4 添付の同軸ケーブルをディスプレイ背面のアンテナ出力端子に接続します。

■ 19型液晶ディスプレイ (TVチューナー内蔵) の場合



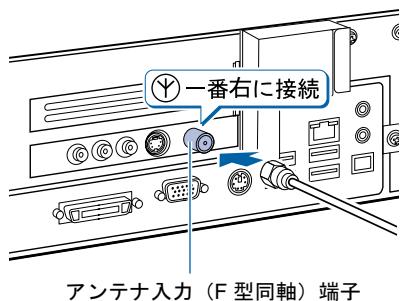
■ 17型液晶ディスプレイ (TVチューナー内蔵) の場合



次のページへ

- 5 同軸ケーブルの反対側のコネクタをパソコン本体背面のアンテナ入力（F型同軸）端子に接続します。**

■パソコン本体背面



ディスプレイ背面のカバーは、電源ケーブルを接続した後に取り付けます。そのままにしておいてください。

続いて、リモコンを準備しましょう（…▶P.41）。

5 リモコンを準備する

ここでは、リモコンを使用するための準備について説明します。

リモコンに乾電池を入れる

⚠ 警告

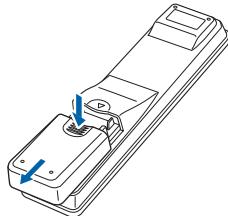
- 乾電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂・液漏れ・発火の原因となります。

☞ 重要

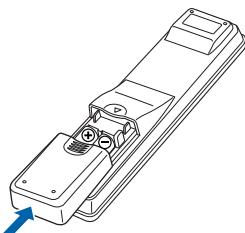
ご購入時に添付されている乾電池はお早めに交換してください

ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。

1 リモコンを裏返して電池ボックスのふたを開けます。



2 乾電池の+（プラス）と-（マイナス）の向きを確かめてから添付のマンガン乾電池を入れて、電池ボックスのふたを閉めます。



続いて、電源ケーブルを接続しましょう (⇒P.42)。

6 電源ケーブルを接続する

ここでは、パソコン本体の電源ケーブルや液晶ディスプレイの AC アダプタを接続する方法について説明します。

⚠ 警告



- 近くで落雷のおそれがある場合は、パソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、モジュラーケーブルやアンテナケーブルをコネクタから抜いてください。
そのまま使用すると、落雷による感電・火災のおそれがあります。

☞ 重要

確認してください

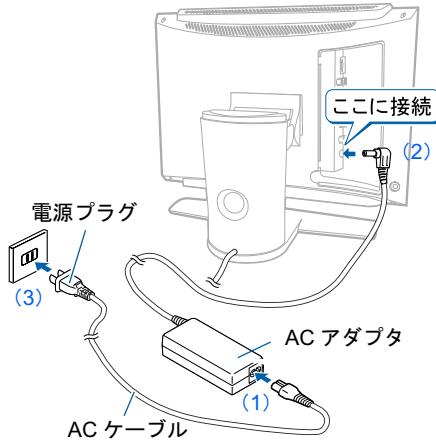
ここまでに接続したすべてのケーブルが、正しく接続されているか確認してください。

液晶ディスプレイ用 AC アダプタを接続する

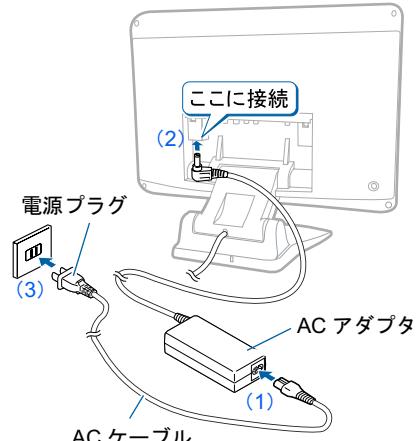
1 AC アダプタを、ディスプレイ背面に接続します。

AC アダプタに AC ケーブルを接続し (1)、ディスプレイ背面の電源コネクタに接続します (2)。その後、電源プラグをコンセントに接続します (3)。

■ 19 型液晶ディスプレイ
(TV チューナー内蔵) の場合



■ 17 型液晶ディスプレイ
(TV チューナー内蔵) の場合



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

POINT

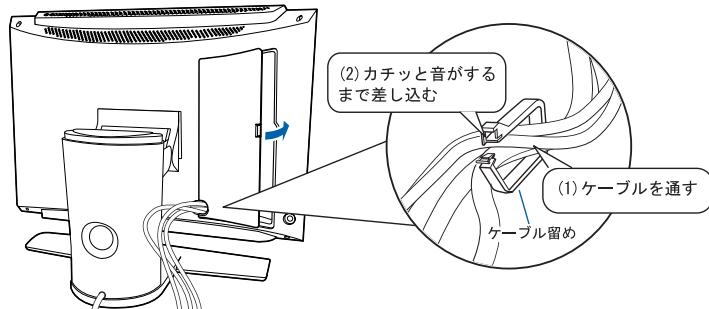
ディスプレイの背面カバーを取り外していない場合は

ディスプレイ背面のカバーを取り外していない場合は「アンテナケーブルを接続する」手順 2 (☞P.38) をご覧になり、カバーを取り外してください。

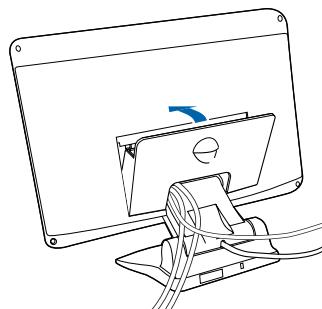
2 ディスプレイ背面のカバーを取り付け、ケーブルを外に出します。

カバーを取り付けるときは、ケーブルをはさまないよう注意してください。

■ 19型液晶ディスプレイ（TVチューナー内蔵）の場合



■ 17型液晶ディスプレイ（TVチューナー内蔵）の場合

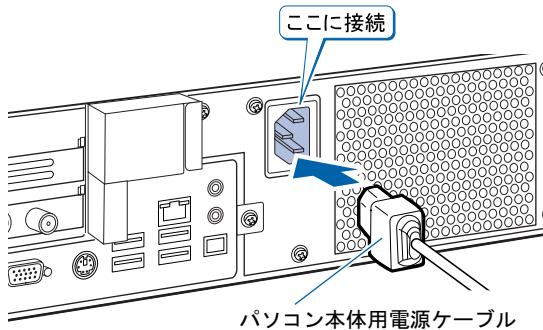


続いて、パソコン本体用電源ケーブルを接続しましょう（☞P.44）。

パソコン本体用電源ケーブルを接続する

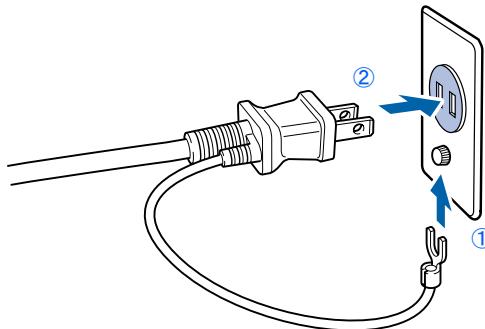
- 1 パソコン本体用電源ケーブルを、パソコン本体背面のインレットに接続します。

■パソコン本体背面



- 2 パソコン本体用電源ケーブルを、コンセントに接続します。

①アース線をコンセントのアースネジに差し込んで、②電源プラグをコンセントに差し込んでください。



重要

アース線について

安全のため、電源ケーブルにはアース線がついています。コンセントに電源プラグを差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。

電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格を持つ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。

コンセントに接続すると

電源ケーブルをコンセントに接続すると、数秒間電源ランプが点灯して電源が入ったような状態になりますが、故障ではありません。

続いて、電源を入れましょう (⇒P.46)。

4

第4章 パソコンを準備する

初めてパソコンの電源を入れるときに行う準備について説明しています。このマニュアルの手順どおりに進めてください。

1 初めて電源を入れる	46
2 電源の切り方と入れ方	62
3 インターネットを始めるための準備をする	67
4 Windows を最新の状態にする	69
5 ウイルス対策ソフトの初期設定をする	72
6 ユーザー登録をする	78
7 準備が完了したら	80

1 初めて電源を入れる

接続を確認する

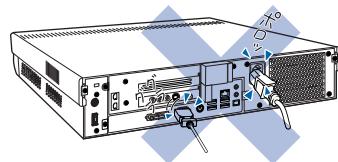
重要

ケーブルはグラグラしていませんか？

奥までしっかりと差し込まれているか、もう一度お確かめください。

セットアップ前には、LAN ケーブル、モジュラーケーブル、ターミナルアダプタ（TA）を接続しないでください

LAN ケーブル、モジュラーケーブル、ターミナルアダプタ（TA）などが接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作（Windows のセットアップ）の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、接続してください。



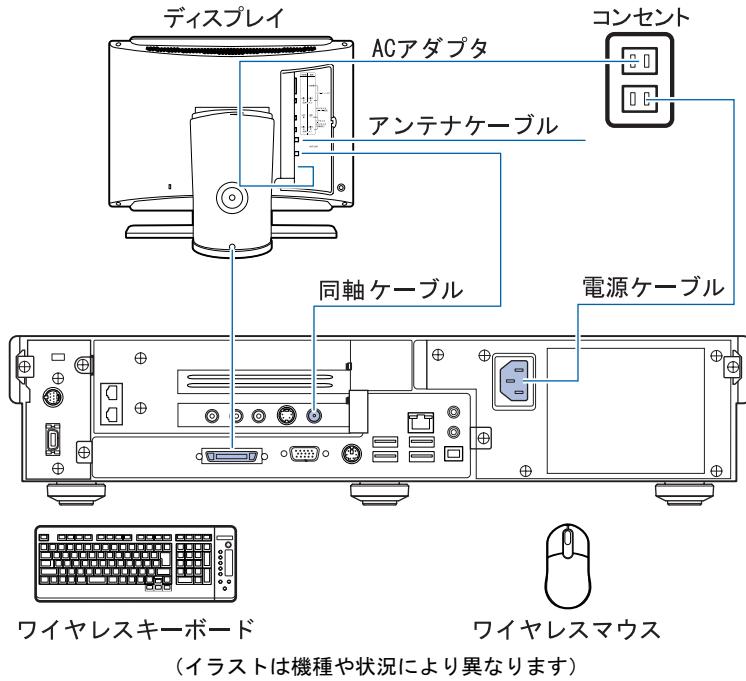
セットアップ前には周辺機器は接続しないでください

プリンタやメモリなどの周辺機器が接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作（Windows のセットアップ）の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、周辺機器のマニュアルをご覧になり、接続してください。

電源を入れる前に、次ページのイラストをご覧になり、正しく接続できているか確認してください。

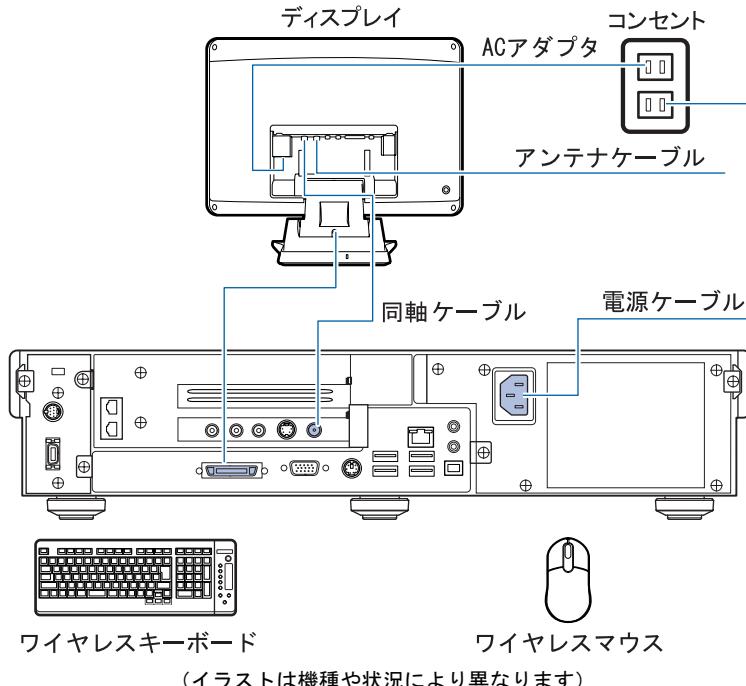
接続方法は機種によって異なります。

H70L9V の場合



4

H70L7V の場合



初めて電源を入れる～Windows のセットアップ

初めて電源を入れるときは、Windows のセットアップという作業が必要です。Windows のセットアップは、初めてパソコンの電源を入れるときに、1回だけ行う操作です。このマニュアルの手順どおりに進めてください。この Windows のセットアップが終わらないと、パソコンは使えるようになります。

セットアップ時の注意事項

セットアップは時間に余裕をもって作業してください

セットアップは半日以上の時間をとり、じっくりと作業することをお勧めいたします。

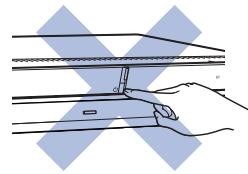
ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの注意事項

初めて電源を入れてから行う操作（Windows のセットアップ）の中で、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの ID 設定をします。

Windows のセットアップは1台ずつ行ってください。

セットアップが終わるまで電源を切らないでください

Windows のセットアップを途中で止めると、Windows が使えなくなる場合があります。セットアップの最後の手順が終わるまでは、電源を切らないでください。もし電源を切って Windows が使えなくなった場合、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら（Q&A）」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」または「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る他）」をご覧ください。



セットアップが終わるまでリモコンは使用しないでください

Windows のセットアップの途中でリモコンを操作すると、Windows のセットアップが途中で終了してしまうことがあります。セットアップが終わるまで、リモコンは使用しないでください。もし電源が切れて Windows が使えなくなった場合には、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら（Q&A）」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」または「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る他）」をご覧ください。

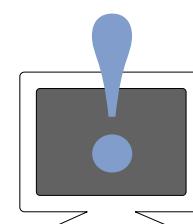
画面が乱れことがあります

電源を入れてから「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されるまでの間、一瞬画面が乱れことがあります。故障ではありませんのでそのままお使いください。

しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく（約5分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがあります。電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

マウスを動かしたり、キーボードの や のどれかを押したりすると、元の画面に戻ります。



Windows のセットアップを始めましょう。

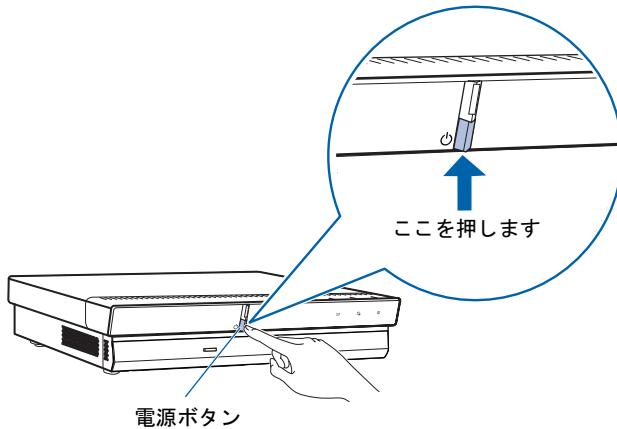
「Windows のセットアップ」とは、次の 3 つの作業のことです。合計 27 手順あります。

- 1 「Windows の設定」…▶手順 1 ~ 14
- 2 「必ず実行してください」の実行…▶手順 15 ~ 23
- 3 「サービスアシスタントの起動・終了方法」…▶手順 24 ~ 27

ページの右端にセットアップの進行状況を示していますので参考にしてください。

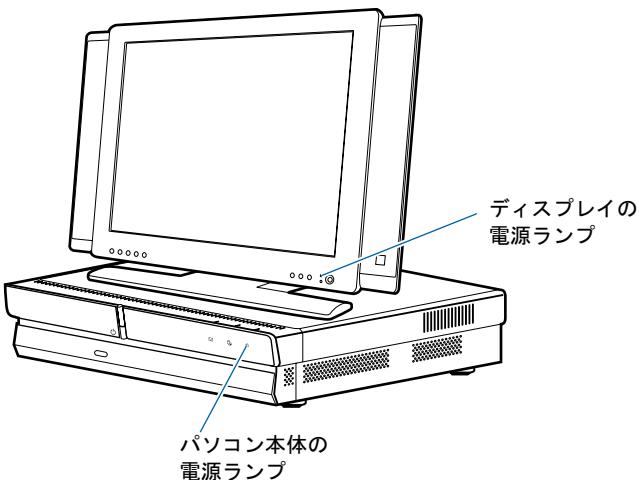
Windows の設定

- 1** パソコン本体の電源ボタンを押します。



- 2** パソコン本体とディスプレイの電源ランプが緑色に点灯していることを確認します。

電源が入ると、画面にさまざまな文字などが表示されます。



(イラストは機種や状況により異なります)

電源を切らずに次のページへ

3 そのまましばらくお待ちください。

電源を入れると、次のような画面が表示されます。



パソコンが再起動します。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがあります。故障ではありません。

手順 7 の画面 (◆▶P.51) が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。
途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。

もし電源を切って Windows が使えなくなった場合は、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら (Q&A)」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」または「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない (メッセージが表示される・音が鳴る他)」をご覧ください。

4 ワイヤレスキーボードの ID を設定します。

「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されたら、次の手順に従って操作してください。

1. パソコン本体前面の CONNECT ボタンを 1 回押します。
電気を通さない棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。
2. ワイヤレスキーボード裏面の CONNECT ボタンを指で 1 回押します。指で押しにくい場合は、ペンの先などでボタンの中央を押してください。
パソコン本体の CONNECT ボタンを押してから、約 10 秒以内に押してください。ID が自動的に設定されます。
3. ワイヤレスキーボードの状態表示 LCD が点灯しているか確認してください。
状態表示 LCD が点灯していない場合は、手順 1 からもう一度設定を行ってください。
詳しくは、「ワイヤレスキーボードの ID 設定をする」(◆▶P.103) をご覧ください。
ID 設定を行わないと、ワイヤレスキーボードを使用できません。

5 ワイヤレスマウスの ID を設定します。

次の手順に従って操作してください。

1. パソコン本体前面の CONNECT ボタンを 1 回押します。
電気を通さない棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。
2. ワイヤレスマウス裏面の CONNECT ボタンを指で 1 回押します。指で押しにくい場合は、ペンの先などでボタンの中央を押してください。
パソコン本体の CONNECT ボタンを押してから、約 10 秒以内に押してください。ID が自動的に設定されます。
3. ワイヤレスマウスを操作します。
4. マウスカーソルを動かし、正常に動作すれば設定完了です。正常に動作しない場合は、手順 1 からもう一度設定を行ってください。
詳しくは、「ワイヤレスマウスの ID 設定をする」(◆▶P.104) をご覧ください。
ID 設定を行わないと、ワイヤレスマウスを使用できません。

6 マウスを用意します。

マウスを机の上などの平らな場所に置き、左右のボタンに指がかかるように手を軽く乗せます。

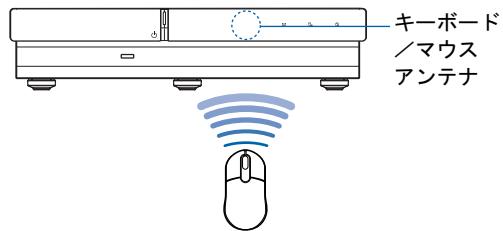
手のひらの下の部分が、軽く机に触れるようにしてください。



POINT

マウスの向きに注意！

ワイヤレスマウスはボタンがあるほうをパソコン本体に向けて使います。

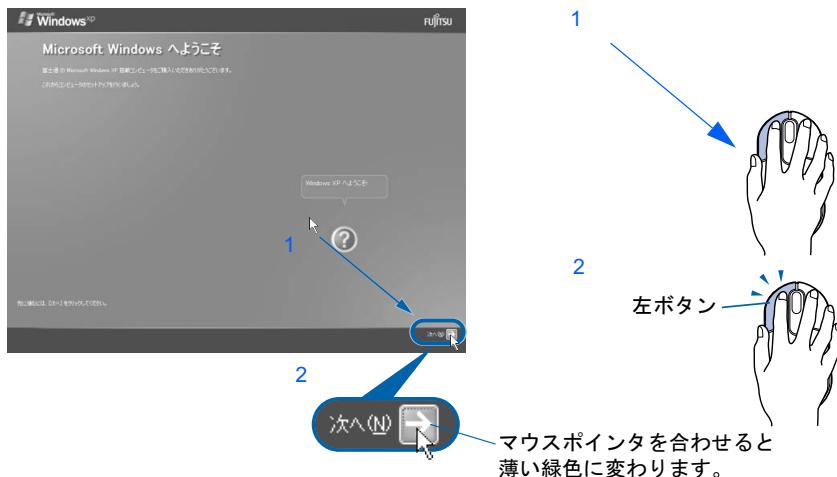


7 1 画面上の矢印を「次へ」の右の□に合わせ、2 マウスの左ボタンを軽く力

チッと**1回押**して、すぐ離します。

マウスを平らな場所に置いたまま、すべらせるとき、マウスの動きに合わせて、矢印(マウスポインタ)が画面の上を動きます。

2の操作のことを、「**クリック**」といいます。



POINT

キーボードやマウスで操作できない場合

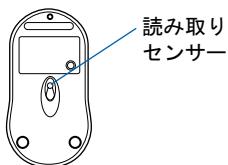
キーボードやマウスが操作できなくなった場合は、「使用上のお願い」(☞P.23)をご覧になり、パソコンを設置している環境を確認してください。それでも操作できない場合は、次の手順に従ってパソコンの電源を入れ直してください。

1. パソコン本体の電源ボタン(☞P.16)を4秒以上押したままにして、強制的に電源を切ります。
2. ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスに乾電池が正しく入っているか確認します(☞P.35)。
3. もう一度パソコン本体の電源ボタンを押して電源を入れます(4秒以上押さないでください)。
4. 「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されたら、「ID 設定をする」(☞P.102)をご覧になり、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスのID設定をします。

電源を切らずに次のページへ

マウスのしくみ

光学式マウスには、裏面に光学式読み取りセンサーが付いています。マウスを机の上などですべらせると、マウス裏面から出された赤い光の陰影を光学式センサーで検知し、画面上のマウスポインタが動くようになっています。



光学式マウスをお使いになる上での注意事項

光学式マウスは、机の上だけでなく、紙の上などでもお使いになることができますが、次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。

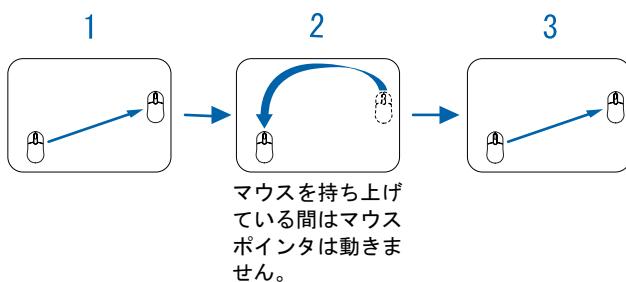
- ・鏡やガラスなど、反射しやすいもの
- ・光沢があるもの
- ・濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの（木目調など）
- ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

光学式センサーは机などと接触せずにマウスの動きを検知しているため、特にマウスパッドなどの必要はありませんが、マウス本体は机などと接触しているため、傷が付きやすい机やテーブルの上では、マウスパッドなどをお使いになることをお勧めします。

マウスパッドをお使いになる場合は、明るい色の無地のマウスパッドをお使いになることをお勧めします。

マウスが机の端まできたら

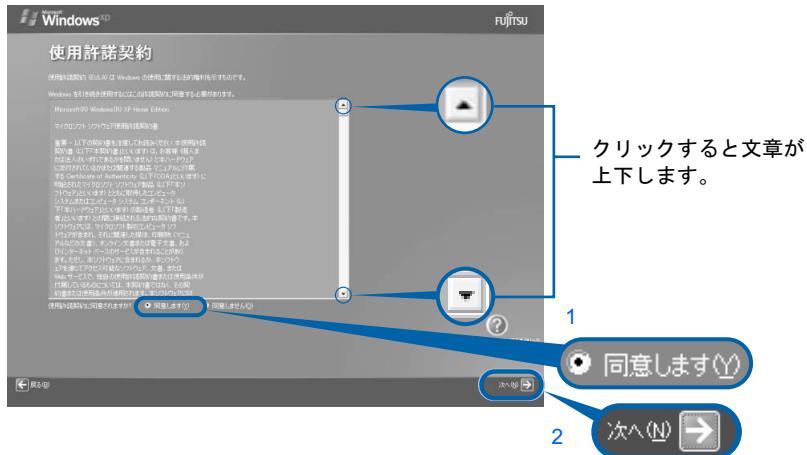
1 マウスが机の端まできたら、2 いったんマウスを持ち上げて、もう一度別の位置から動かしてください。マウスを持ち上げている間は、マウスポインタは動きません。



ボタンは軽く押すだけでOK!

力を入れて押す必要はありません。マウスのボタンはカチッと1回押したら、すぐ指を離すようにします。

- 8** 1 Windows の使用許諾契約書の内容をご覧になり、ご同意いただけるときは「同意します」をクリックして①にし、2 「次へ」の右の➡をクリックします。



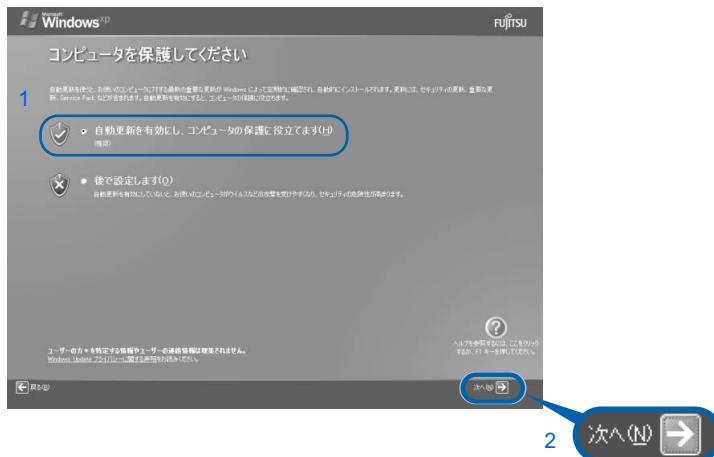
次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります、そのままお待ちください。

重要

「同意しません」をクリックした場合

「続ける前に...」という画面が表示されます。使用許諾契約書にご同意いただけないと、このパソコンはお使いになられません。
手順 8 の画面に戻るには、表示された画面で「戻る」の左の⬅をクリックしてください。

- 9** 1 「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」をクリックして①にし、2 「次へ」の右の➡をクリックします。



電源を切らずに次のページへ

10 「次へ」の右の▣をクリックします。

表示されているコンピュータの名前は、ここでは変更しません。コンピュータの名前は後から変更できます。詳しくは、Windows のセットアップがすべて完了した後、Windows のヘルプを表示して「コンピュータ名」で検索し、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。



次の画面が表示されるまでお待ちください。

11 「省略」の右の▷をクリックします。



POINT

「インターネット接続が選択されませんでした」という画面が表示された

この画面が表示されたら、「省略」の右の▷をクリックして、手順 12 (••▷P.55) へ進んでください。

インターネット接続の設定は、セットアップが最後まで終わってから、「インターネットを始めるための準備をする」(••▷P.67) をご覧ください。

12 ①「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックして②にし、②「次へ」の右の➡をクリックします。



POINT

「はい、今すぐユーザー登録します」を選択して進んでしまった場合

「ユーザー登録情報を入力してください」という画面で「戻る」の左の⬅をクリックして、手順 12 からやり直します。

「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか？」という画面が表示された場合

「いいえ、今回はインターネットに接続しません」をクリックして①にし、「次へ」の右の➡をクリックします。

13 画面に表示されているメッセージを確認してから、「完了」の右の➡をクリックします。



パソコンが再起動します。

次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります、そのままお待ちください。

電源を切らずに次のページへ

14 そのまましばらくお待ちください。

パソコンが再起動すると、次のような画面が表示されます。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

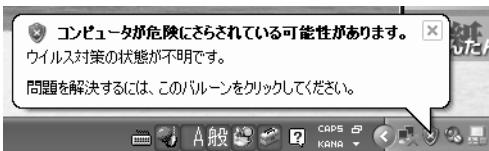
続いて、「必ず実行してください」を実行します (☞P.57)。

POINT

画面右下の通知領域に「コンピュータが危険にさらされている可能性があります」と表示されたら

まだウイルス対策ソフトの設定が終わっていないため表示される場合があります。

このような場合は、この後手順どおりに進み、「ウイルス対策ソフトの初期設定をする」(☞P.72)をご覧になって設定すると表示されなくなります。



Windows 起動時、または終了時の画面について

Windows 起動時、または終了時に、画面左上が白くぼやけて見えるときがあります。

これは画面のデザインであり故障ではありません。

「必ず実行してください」の実行

15 1 「スタート」ボタン→2 ①必ず実行してください の順にクリックします。

①必ず実行してください は、パソコンの初期設定を行うプログラムです。以降の手順は最後まで必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。

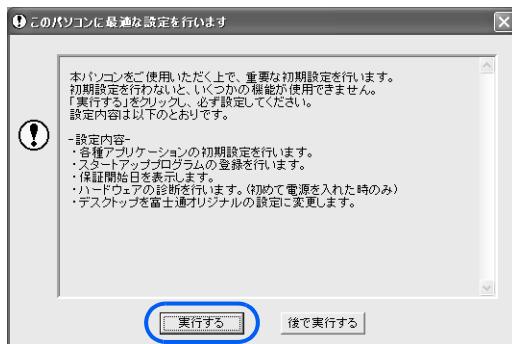


POINT

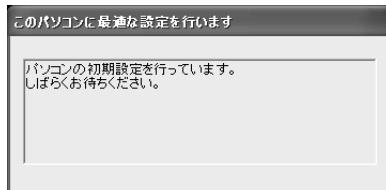
画面にある①(必ず実行してください)をクリックしても実行できます

- 画面の①をクリックします。
この後は、手順 16 (⇒P.57) に進んでください。

16 「実行する」をクリックします。



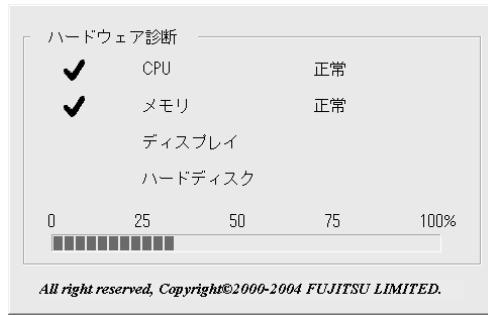
パソコンの初期設定が始まり、次の画面が表示されます。手順 17 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。



電源を切らずに次のページへ

17 ハードウェア診断が始まり、次の画面が表示されます。手順 18 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

途中、ディスプレイを診断する画面なども表示されます。

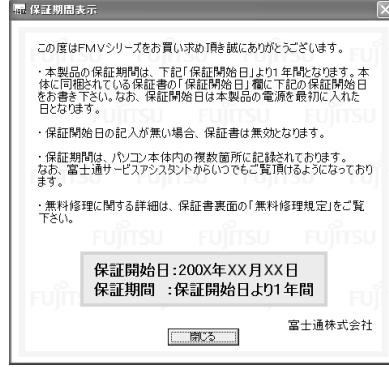


※重要

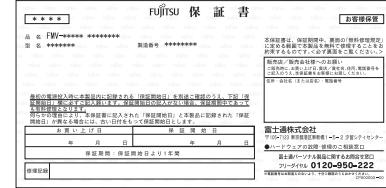
ハードウェア不良の画面が表示された場合

画面の指示に従ってください。

18 この画面が表示されたら、保証書を用意します。



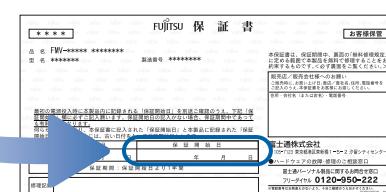
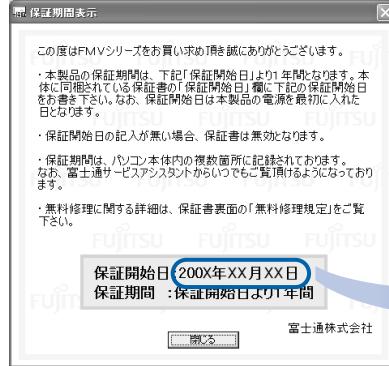
保証書は梱包箱に貼り付けられています。



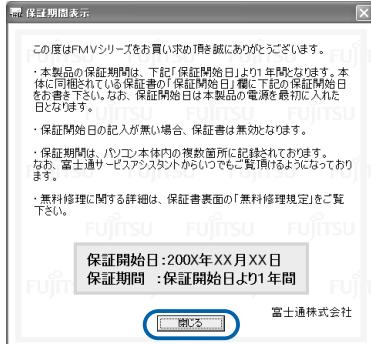
19 画面に表示された保証開始日を、保証書に書き写します。

保証書に保証開始日が記入されていないと、**保証期間内であっても有償**での修理となります（なお、保証開始日は本製品の電源を最初に入れた日になります）。

保証書は大切に保管してください。

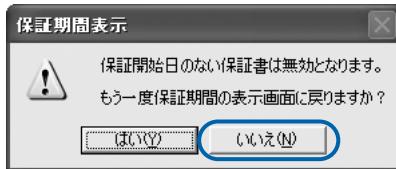


20 「閉じる」をクリックします。

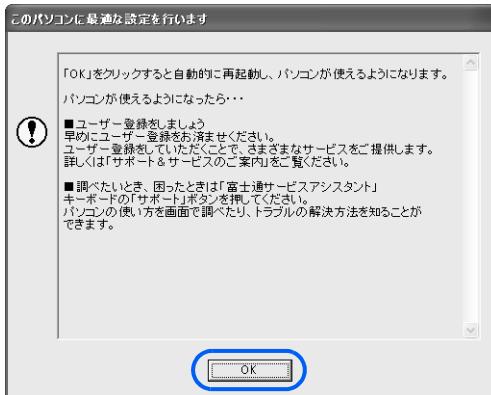


21 次の手順に進んで良ければ「いいえ」をクリックします。

もう一度保証期間を確認したいときは「はい」をクリックしてください。



22 「OK」をクリックします。



画面がいったん暗くなり、パソコンの再起動が始まります。

次の画面が表示されるまで少し時間がかかることがあります、そのままお待ちください。

23 画面が表示されたことを確認します。

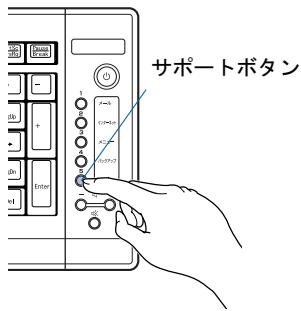


電源を切らずに次のページへ

サービスアシスタント（画面で見るマニュアル）の起動・終了方法

パソコンの操作でわからないことがあるときやパソコンの調子が悪いときには「サービスアシスタント」をご覧ください。「サービスアシスタント」では、画面で見るマニュアルや、サポートに関する情報などをご覧いただけます。ここでは、サービスアシスタントを一度起動・終了してみます。

24 キーボードの「サポート」ボタンを押します。



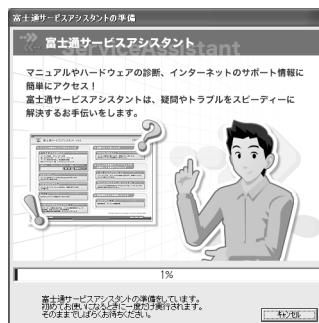
POINT

機種を選択する画面が表示されたときは

別紙などで特に指示がない限り、お使いの機種名（品名）を選んでください。
機種名の調べ方は「機種名を確認してください」（ $\cdots\blacktriangleright$ P.22）をご覧ください。

25 そのまましばらくお待ちください。

サービスアシスタントは初めて起動したときだけ、起動するまでにしばらく（約5分間）時間がかかる場合があります。



26 サービスアシスタントが起動します。



これがサービスアシスタントのトップ画面です。サービスアシスタントの使い方については、『FMV 活用ガイド』→「パソコンの画面で見るマニュアルを活用する」→「サービスアシスタント」で調べる」をご覧ください。

27 ここでは、サービスアシスタントのトップ画面で[X]をクリックし、サービスアシスタントを終了します。



POINT

これ以降、サービスアシスタントを起動するには
キーボードの「サポート」ボタンを押してください。

POINT

ソフトウェアを起動するには

ソフトウェアは、@メニューから起動してください（@メニューには、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」から起動できないソフトウェアも登録されています）。

詳しくは、『FMV 活用ガイド』→「基本的な使い方を覚えよう」→「ソフトウェアを起動する」→「@メニュー」を使って起動する」をご覧ください。

最新のサポート情報をインターネットでご案内しています

サービスアシスタントには、インターネットを使って最新のサポート情報を表示する機能があります。この機能はインターネット接続の設定を行うと利用できるようになります。

この後の手順「インターネットを始めるための準備をする」（⇒P.62）をご覧ください。

続いて、電源の切り方と入れ方を覚えましょう（⇒P.62）。

2 電源の切り方と入れ方

電源の切り方と入れ方はとても重要です。正しい方法を覚えてください。

⚠ 注意



- ・CDやDVDをセットまたは取り出す場合は、CD/DVDドライブのトレーに指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。
- ・電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となることがあります。

電源を切る

1 それまで行っていた作業を終了します。

ソフトウェアを起動している場合は、作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了します。

例えばワープロソフトを使って文書を作成中の場合は、文書データを保存し、ワープロソフトを終了します。

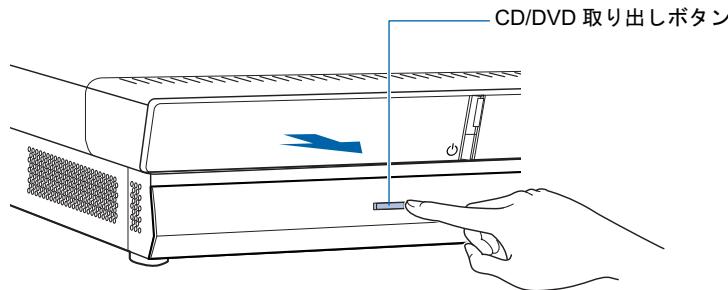
POINT

ソフトウェアを終了しなかった場合

ソフトウェアを起動したままでもこれ以降の操作を進められますが、途中で作業中のデータを保存するか確認するメッセージが表示されることがあります。誤動作の原因となるので、あらかじめソフトウェアを終了しておくことをお勧めします。

2 CD、DVDなどがセットされていたら、CD/DVD取り出しボタンの中央を押して取り出します。

CD、DVDなどを取り出したら、再度CD/DVD取り出しボタンの中央を押して、トレーを戻します。



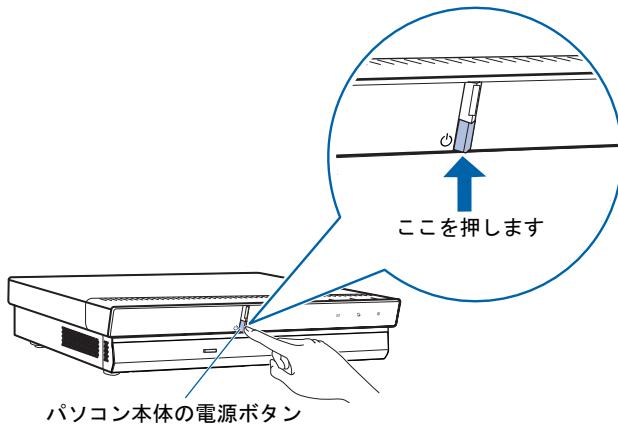
POINT

CDやDVDなどを入れたままだと

パソコンの電源を切ってしまうと、CDやDVDなどは取り出せません。

3 パソコン本体の電源ボタンを押します。

しばらくすると Windows が終了し、パソコン本体の電源が自動的に切れます（画面が暗くなり、パソコン本体の電源ランプが消え、ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯します）。



4

重要

電源ボタンは押し続けないでください

電源ボタンを 4 秒以上押し続けると、Windows などの正常な終了処理ができないまま、強制的に電源が切れてしまいます。

POINT

電源を切る方法はいろいろあります

・「スタート」ボタンから電源を切る

1. 「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。
2. 「電源を切る」をクリックします。

しばらくすると Windows が終了し、パソコン本体の電源が自動的に切れます（画面が暗くなり、パソコン本体とディスプレイの電源ランプが消えます）。

・ワイヤレスキーボードで電源を切る

1. ワイヤレスキーボードのパソコン電源ボタンを押します。

しばらくすると Windows が終了し、パソコン本体の電源が自動的に切れます（画面が暗くなり、パソコン本体とディスプレイの電源ランプが消えます）。

・リモコンで電源を切る

1. リモコンのパソコン電源ボタンを押します。

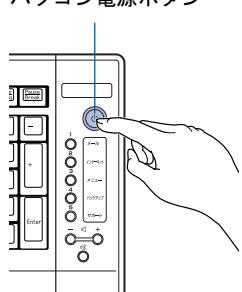
「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

2. リモコンの<（左カーソル）ボタンまたは>（右カーソル）ボタンを押して「電源を切る」を選択し、決定ボタンを押します。

しばらくすると Windows が終了し、パソコン本体の電源が自動的に切れます（画面が暗くなり、パソコン本体とディスプレイの電源ランプが消えます）。

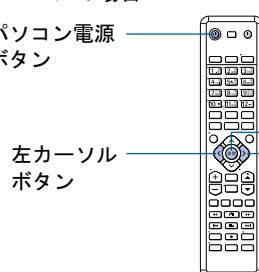
■ワイヤレスキーボードの場合

パソコン電源ボタン



■リモコンの場合

パソコン電源
ボタン



左カーソル
ボタン

決定ボタン
右カーソル
ボタン

（イラストは機種や状況により異なります）

次のページへ

POINT

電源が切れない場合

パソコンが動かなくなり（マウスやキーボードが操作できないなど）、電源が切れないときは、次のように操作してください。

〔Ctrl〕と〔Alt〕を押しながら〔Delete〕を押してソフトウェアを強制終了し、その後で電源を切ってください。ソフトウェアの強制終了については、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら（Q&A）」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q 操作中に画面が動かなくなった」をご覧ください。

強制終了できないときは、パソコン本体の電源ボタンを 4 秒以上押し続けて強制的に電源を切ってください。

電源を切った後、パソコン本体の電源ランプが消えている（電源が切れている）ことを確認してください。電源ランプがオレンジ色に点灯しているときは、スタンバイ状態になっているため電源が切れていません。もう一度電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ってください。

4 パソコンに接続されている機器の電源を切ります。

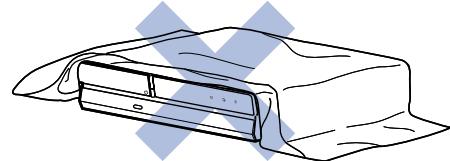
続いて、電源の入れ方を覚えましょう（☞P.65）。

電源を入れる

重要

電源を入れるときの注意

- ・電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで10秒ほどお待ちください。
- ・液晶ディスプレイは、必ずパソコン本体の電源ケーブルをコンセントに差し込む前に接続しておいてください。パソコン本体の電源ケーブルをコンセントに差し込んだ後にディスプレイを接続すると、正常に動作しないことがあります。
- ・パソコンに布などのカバーをかけている場合は、必ずそれを完全に取り外してから電源を入れてください。パソコンの通風孔などが布などでふさがれたまま使用すると、パソコン内部に熱がこもり、動作不良や本体カバーの変形が起きることがあります。



しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく（約5分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

マウスを動かしたり、キーボードの や のどれかを押したりすると、元の画面に戻ります。

1 パソコンに接続されている機器の電源を入れます。

POINT

ディスプレイの電源は入れません

ここでは、ディスプレイの電源は入れません。パソコン本体の電源を入れると、自動的にディスプレイの電源が入ります。

2 電源ケーブルがコンセントに接続されていない場合は、電源プラグをコンセントに差し込みます。

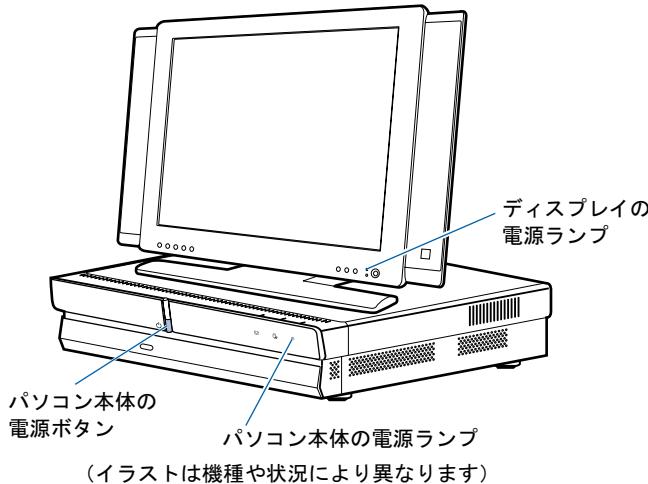
重要

コンセントに接続すると

電源ケーブルをコンセントに接続すると、数秒間電源ランプが点灯して電源が入ったような状態になりますが、故障ではありません。

3 パソコン本体の電源ボタンを押します。

パソコン本体とディスプレイの電源ランプが点灯し、画面にさまざまな文字などが表示されます。そのまま、しばらくお待ちください。



(イラストは機種や状況により異なります)

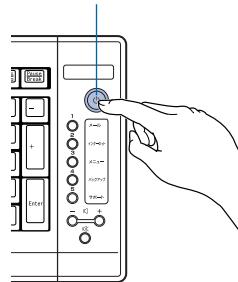
POINT

電源を入れる方法はいろいろあります

- ・ワイヤレスキーボードのパソコン電源ボタンでも電源を入れることができます。
- ・リモコンのパソコン電源ボタンでも電源を入れることができます。

■ワイヤレスキーボードの場合

パソコン電源ボタン



■リモコンの場合

パソコン
電源ボタン



(イラストは機種や状況により異なります)

4 このような画面が表示されたことを確認します。



(画面は機種や状況により異なります)

POINT

Windows が起動しない場合

電源を入れても Windows が起動しないときは、ディスプレイなどが正しく取り付けられているかを確認してください。「接続を確認する」(☞P.46)

以上の点を確認しても Windows が起動しない場合は、☞『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら (Q&A)」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンが起動しない、画面に何も映らない [DESKPOWER]」をご覧ください。

続いて、インターネットを始めるための準備をしましょう (☞P.67)。

3 インターネットを始めるための準備をする

このパソコンでインターネットやオンラインユーザー登録を利用するためには、インターネットに接続するための準備が必要です。

なお、初めてインターネットに接続するときには、ウイルスや不正アクセスからパソコンを守るためのセキュリティ対策を必ず行ってください。

初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじやくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。

初めてインターネットに接続するときには、インターネットの接続設定が終わった後、必ずパソコンを最新の状態（…▶P.69）にし、セキュリティ対策（…▶P.72）を行ってください。

インターネット接続の設定

インターネットの接続方法には、一般的に次の方法があります。

- ・一般的な電話回線（アナログ）
- ・ISDN回線
- ・ADSL
- ・ケーブルテレビ（CATV）
- ・光ファイバー（FTTH）

それぞれの設定方法については、各プロバイダや回線事業者から提供される書類や、各機器のマニュアルを必ずご覧ください。

また、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「6. インターネット/Eメール」→「インターネットに接続するための設定」→「インターネットに接続するまでの流れ」もあわせてご覧ください。

重要

内蔵モデムで長時間インターネットに接続する場合

ソフトウェアを起動したままインターネットに長時間接続していると、パソコンのCPUに高い負荷がかかり、内蔵モデムでの通信が切斷される場合があります。このような場合は、ブラウザやメールソフト以外のソフトウェアを終了してからもう一度インターネットに接続してください。

POINT

今までお使いになっていたパソコンの設定を移行する場合は

このパソコンには、今までお使いになっていたパソコンの設定や必要なデータの移行をガイドする「PC 乗換ガイド」というソフトウェアが用意されています。このソフトウェアを使うと、インターネットや E メールの利用環境を、そのままこのパソコンで使うことができます。詳しくは、「このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行する場合」(⇒P.83) をご覧ください。

続いて、Windows Update を実行して Windows を最新の状態にしましょう (⇒P.69)。

4 Windows を最新の状態にする

インターネットに接続できるようになったら、インターネットに接続した状態で「Windows Update」を実行してください。

「Windows Update」は、Windows を常に最新の状態に整えるマイクロソフト社が提供するサポート機能です。「Windows Update」を実行すると、Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新・修正できます。最新の状態にすることにより、ウイルスが侵入したり、不正アクセスされたりするセキュリティホールをなくすための対策（パッチをあてると言います）もされます。

「Windows Update」を実行する

ここでは、「Windows Update」の中の重要な更新プログラムとセキュリティ更新プログラムを手動でインストールする方法について説明します。

なお、ご購入時の設定では、インターネットに接続しているときに、重要な更新プログラムとセキュリティ更新プログラムは自動更新するように設定されています。

重要

Windows Updateについて

「Windows Update」でマイクロソフト社から提供されるプログラムについては、弊社がその内容や動作、および実施後のパソコンの動作を保証するものではありませんのでご了承ください。

POINT

「情報バー」という画面が表示されたら

「OK」をクリックします。

「セキュリティ警告」という画面が表示されたら

「はい」をクリックします。

「セキュリティの警告」という画面が表示されたら

発行元が Microsoft になっていることを確認し、「インストール」をクリックします。

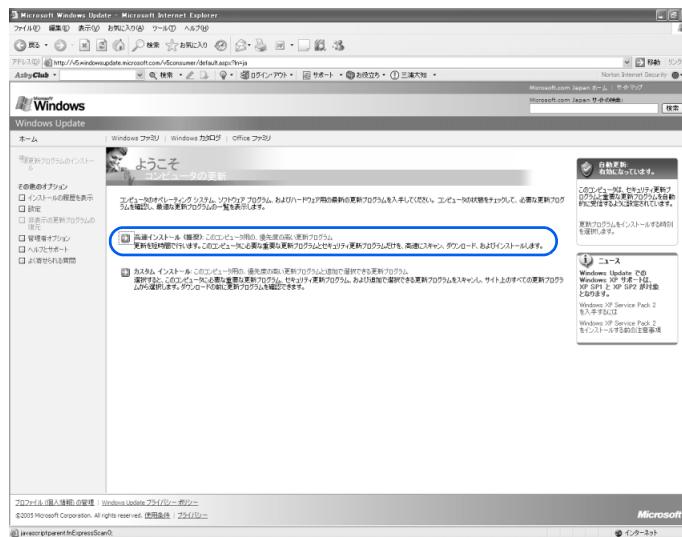


「続行しますか?」という画面が表示されたら

「インターネットへ情報を送信するときに、その情報を他の人から読み取られる可能性があります。続行しますか?」という画面が表示される場合があります。「Windows Update」を実行するときは、「はい」をクリックしてください。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。

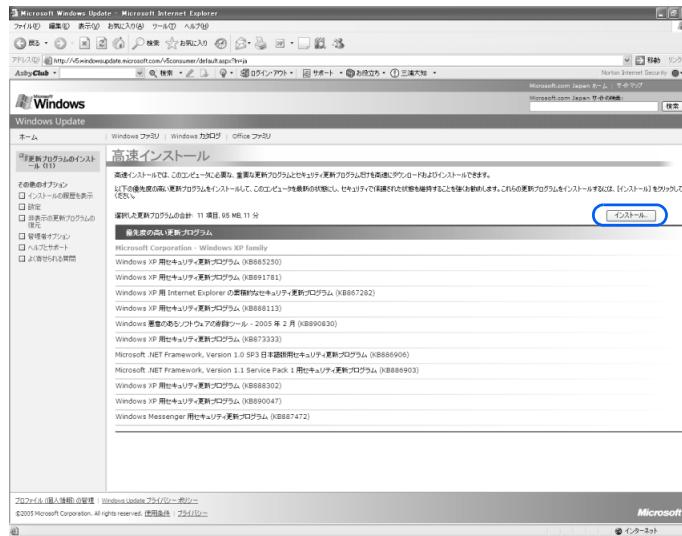
「Windows Update」の画面が表示されます。



2 「高速インストール」をクリックします。

パソコンの状態をチェックし、更新プログラムの一覧を表示します。

3 優先度の高い更新プログラムの一覧が表示されたら、「インストール」をクリックします。



「利用可能な更新プログラムはありません」と表示されたら

現在公開されている優先度の高い更新プログラムはすべて適用されていますので、この後の手順は必要ありません。手順6(●▶P.71)に進んでください。

4 この後は、表示される画面に従って操作してください。

POINT

使用許諾契約書の画面が表示されたら

インストールする更新プログラムによっては、使用許諾契約書の画面が表示される場合があります。内容をよくお読みになり、「同意します」をクリックします。

5 「お使いのコンピュータは正しく更新されました。」と表示されたら、「閉じる」をクリックします。

POINT

「更新を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示されたら

1. 「今すぐ再起動」をクリックします。
パソコンが再起動します。
この場合、手順6（ $\cdots\blacktriangleright$ P.71）は必要ありません。

6 「Internet Explorer」の[X]をクリックします。

重要

ダイヤルアップ接続の方は

ダイヤルアップ接続の方は、「Internet Explorer」を閉じた後、「自動切断」ウィンドウで「今すぐ切断する」をクリックします。

回線が切断され、画面右下の通知領域からが消えます。

画面右下の通知領域のが消えないときは、を右クリックして、「切断」をクリックします。

続いて、ウイルス対策ソフトの初期設定をしましょう（ $\cdots\blacktriangleright$ P.72）。

5 ウイルス対策ソフトの初期設定をする

「Windows Update」を実行したら、インターネットに接続した状態でウイルス対策ソフトの初期設定を行ってください。

このパソコンには、「Norton AntiVirus」というウイルス対策ソフトが用意されています。「Norton AntiVirus」は、パソコンをコンピュータウイルスから守るためのソフトウェアです。ウイルスを発見し駆除するウイルス定義ファイルは、常に最新のものに更新できるので、次々と現れる新種のウイルスにも威力を発揮します。

「Norton AntiVirus」の初期設定

ここでは、「Norton AntiVirus」の初期設定を行います。

「Norton AntiVirus」の初期設定が終わらないと、ウイルスや不正アクセスからパソコンを保護することができません。必ずこのマニュアルの手順どおりに進めてください。

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Norton AntiVirus」→「Norton AntiVirus 2005」をクリックします。

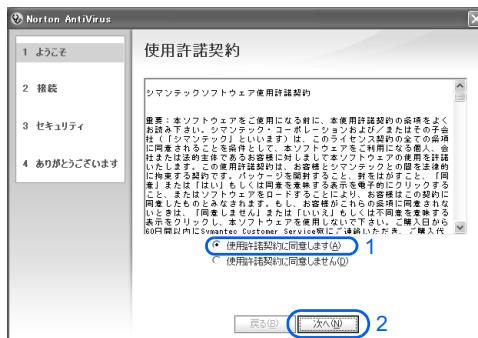
「Norton AntiVirus」画面が表示されます。

- 2 「次へ」をクリックします。

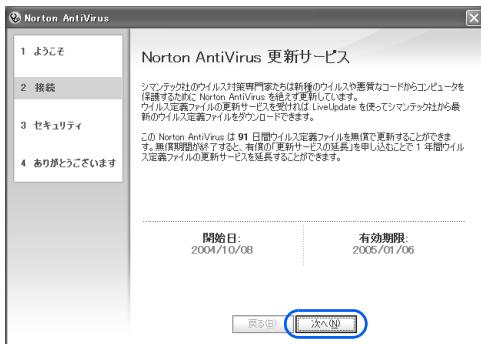


(これ以降の画面は状況により異なります)

- 3 1 使用許諾契約の内容をご覧になり、「使用許諾契約に同意します」をクリックして①にし、2「次へ」をクリックします。

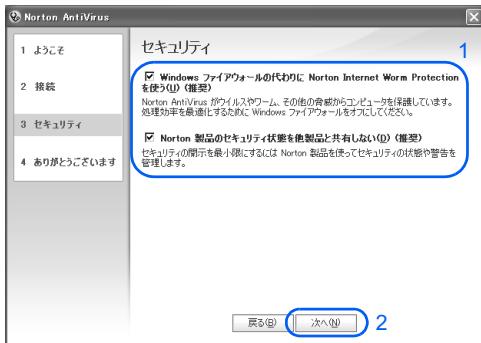


4 Norton AntiVirus 更新サービスの有効期限を確認し、「次へ」をクリックします。

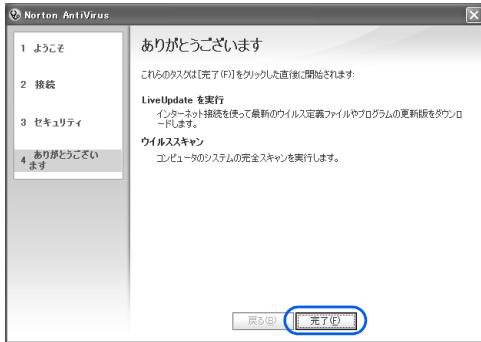


5 1 すべてのチェックボックスが☑になっていることを確認し、2 「次へ」をクリックします。

☒ になっている場合は、☒をクリックして☑にしてください。



6 「完了」をクリックします。



「LiveUpdate」画面が表示されます。

7 「次へ」をクリックします。

最新のウイルス定義ファイルを検索します。次の画面が表示されるまでに時間がかかることがあります、しばらくお待ちください。



8 「次へ」をクリックします。

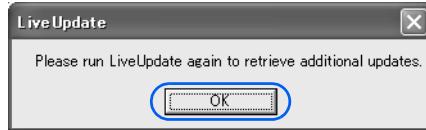
更新されたソフトウェアや最新のウイルス定義ファイルのインストールが始まります。次の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。



※重要

「Please run LiveUpdate again to retrieve additional updates.」という
画面が表示されたら

次の画面が表示されたら、「OK」をクリックしてください。



9 「完了」をクリックします。



10 Windows の再起動を要求する画面が表示されたら、メッセージに従って、パソコンを再起動します。

パソコンが再起動します。パソコンが起動すると、パソコンがウイルスに感染していないかチェックするために「Norton AntiVirus」のウイルススキャンが自動的に始まります。

ウイルススキャンが完了するまでにかなり時間がかかることがあります、そのままでお待ちください。

4



重要

「コンピュータセキュリティを監視しているのは」という画面が表示されたら次の画面が表示されたら、**1** になっていることを確認し、**2** 「OK」をクリックします。
□ になっている場合は、□ をクリックして にしてください。



しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

マウスを動かしたり、キーボードの **↑** **↓** **←** **→** や **[Shift]** のどれかを押したりすると、元の画面に戻ります。

次のページへ

11 「完了」をクリックします。



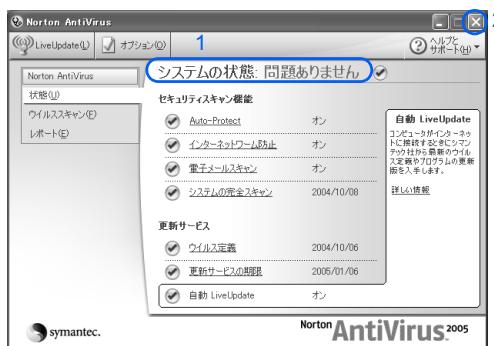
12 1「更新サービス」にある「自動 LiveUpdate」をクリックして、2画面右側の「有効にする」をクリックします。



自動 LiveUpdate がオンになります。

他にも、表示されている項目で「オフ」になっているものがある場合には、項目名をクリックして「有効にする」をクリックしてください。

13 「Norton AntiVirus」画面で 1「システムの状態：問題ありません」と表示されていることを確認し、2画面の右上にある[X]をクリックします。



「Norton AntiVirus」画面が閉じます。

これでウイルス対策ソフトの初期設定が完了しました。

■お問い合わせ先

「Norton AntiVirus」については、株式会社シマンテックにお問い合わせください。お問い合わせ窓口については、『サポート＆サービスのご案内』→「ソフトウェアについて困ったときは」→「ソフトウェアのお問い合わせ先一覧」をご覧ください。

初期設定が完了したら

画面右下の通知領域にあるアイコンが次のように変わったことを確認してください。

- ・ (Norton AntiVirus) のアイコンが、になります。

今後もいつ新たなウイルスなどが出現するかわかりません。ウイルス対策ソフト「Norton AntiVirus」の「ウイルス定義ファイルの更新」と「Windows Update」などのセキュリティ対策を心がけましょう。詳しくは、『FMV 活用ガイド』→「セキュリティ対策をする」→「セキュリティ対策」をご覧ください。

続いて、ユーザー登録をしましょう (☞P.78)。

6 ユーザー登録をする

インターネットに接続し、セキュリティ対策が完了したら、パソコンの画面上でユーザー登録を行います。

お客様の情報、およびご購入いただいた FMV の機種情報を登録していただくことでお客様 1 人 1 人に、よりきめ細かなサポート・サービスをご提供いたします。詳しくは、『サポート & サービスのご案内』をご覧ください。

ユーザー登録をするとご利用になれるサービス

ユーザー登録をすると、お客様専用の「ユーザー登録番号」と「パスワード」が発行されます。また、自動的に「FMV ユーザーズクラブ AzbyClub（アズビィクラブ）」の会員としても登録され、次のようなサービスをご利用いただけます。

AzbyClub とは、お客様に FMV を快適にご利用いただくための会員組織です。入会金、年会費は無料です（2 年目以降も無料）。

■ FMV 活用サイト AzbyClub ホームページ

お客様がお使いのパソコンに関する情報や、サポートおよび活用情報が満載です。また、会員向けのショッピングサービスやお得なキャンペーン情報もご紹介します。

<http://azby.fmworld.net/>

■ 技術相談窓口 Azby テクニカルセンター

AzbyClub 会員専用の技術相談窓口です。電話や E メールによるサポートをご利用いただけます。サポートツール「サービスアシスタント」、紙のマニュアル、AzbyClub ホームページで確認しても、問題が解決できない場合、技術相談を受けられます。

■ AzbyClub メール配信サービス

お客様がお持ちのメールアドレスを AzbyClub に登録していただくと、お役立ち情報満載の「AzbyClub メール配信サービス」をご利用いただけます。

■ AzbyClub ポイントサービス

AzbyClub 会員専用のポイントサービスです。AzbyClub ホームページの「ショッピング」や「富士通ショッピングサイト WEB MART」でご利用いただけます。

■ AzbyClub カード

ユーザー登録番号（AzbyClub 会員番号）が刻印された、お得な特典いっぱいのカードです。入会費・年会費ともに無料です。

パソコンの画面上でユーザー登録する

パソコンの画面上でユーザー登録を行う方法には、次の2種類があります。

ユーザー登録をする方法については、□『サポート&サービスのご案内』をご覧ください。

■ホームページからのユーザー登録

インターネットのFMVユーザー登録専用のホームページからユーザー登録を行います。

インターネットに接続できる環境が必要です。

■専用プログラムによるユーザー登録

「FMVオンラインユーザー登録」というユーザー登録専用プログラムでユーザー登録を行います。

電話回線を使って通信します。



ユーザー登録番号やパスワードを忘れてしまったら

FMV活用サイトAzbyClub（アズビィクラブ）ホームページでユーザー登録番号の確認およびパスワードの再発行ができます。

ユーザー登録番号の確認およびパスワードの再発行の方法については、□『サポート&サービスのご案内』→「FMVユーザー登録をする」→「ユーザー登録番号やパスワードを忘れたときには」をご覧ください。

7 準備が完了したら

ここまで作業が終わると、パソコンの準備は完了です。

パソコンの準備はすべて完了していますか？

これまで説明してきたパソコンの準備が、すべて完了しているか確認してください。再確認したい項目や、完了していない操作については、各参照先に戻って再度確認または操作してください。

1 「機種名を確認してください」（…▶P.22）

お使いの機種によってマニュアルの読み方が異なります。

2 「使用上のお願い」（…▶P.23）

このパソコンの取り扱いにあたっての大切な注意事項です。確認してください。

3 「接続する」（…▶P.31）

必要な機器が取り付けられているか、確認してください。

4 「初めて電源を入れる～Windows のセットアップ」（…▶P.48）

初めて電源を入れたときに行う操作です。すべての操作を終えているか、確認してください。

5 「電源の切り方と入れ方」（…▶P.62）

必ずこのマニュアルの手順に従って操作してください。

6 「インターネットを始めるための準備をする」（…▶P.67）

お客様の環境にあった接続方法を選択して接続してください。

7 「Windows を最新の状態にする」（…▶P.69）

Windows Update を実行し、Windows を最新の状態にしてください。

8 「ウイルス対策ソフトの初期設定をする」（…▶P.72）

ウイルス対策ソフトの初期設定をして、セキュリティ対策を行ってください。

9 「ユーザー登録をする」（…▶P.78）

パソコンの画面上でユーザー登録を行います。

パソコンの準備が完了したら『FMV 活用ガイド』へ

パソコンの準備が完了したら『FMV 活用ガイド』をお読みください。『FMV 活用ガイド』では、パソコンをお使いになる前に確認していただきたいこと、覚えておくと便利なこと、情報の探し方やトラブルの対処法など、FMV を活用するためのさまざまな情報を紹介しています。

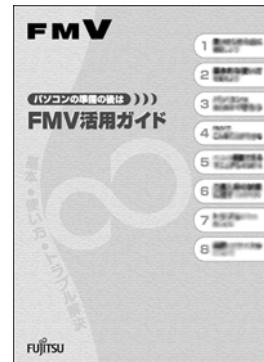
『FMV 活用ガイド』の主な内容

第1章 準備が完了したことを確認しよう

パソコンの準備がすべて完了しているか、この章で再度確認します。

第2章 基本的な使い方を覚えよう

パソコンの基本操作、ホームページの見かたや E メールの基本操作がわかります。



第3章 セキュリティ対策をする

ウイルスなどからパソコンを守るセキュリティ対策について紹介しています。

第4章 バックアップで大切なデータを守る

大切なデータの予備をとる（バックアップする）方法について説明しています。

第5章 FMV のおすすめ活用法

FMV に搭載されているソフトウェアを使ってできる、楽しい活用法を紹介しています。また、FMV を最新の状態にする方法も紹介しています。

第6章 パソコンの画面で見るマニュアルを活用する

パソコンを使いこなすための情報がある、「パソコンの画面で見るマニュアル」の使い方や調べ方を紹介しています。

第7章 トラブルかなと思ったら（Q&A）

電源が入らないトラブル・画面が表示できないトラブルを中心に、パソコンを使っていて困ったときの対処法を説明しています。

第8章 パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）

ハードディスクを初期状態に戻し、Windows やソフトウェアをご購入時の状態に戻す方法を説明しています。

第9章 廃棄・リサイクルについて

このパソコンや使用済み乾電池・バッテリを廃棄するときの注意事項などが書かれています。また、破棄する前に、ハードディスクのデータを消去する方法も説明しています。

テレビについて知りたいときは『FMVで見る・録る・残すガイド』へ

このパソコンでテレビを見る方法については、『FMVで見る・録る・残すガイド』をご覧ください。このパソコンでテレビを見る前に確認していただきたいことや具体的なテレビの利用方法、トラブル時の対処方法について紹介しています。

『FMVで見る・録る・残すガイド』の主な内容

- 第1章 このパソコンでできること
- 第2章 準備をする
- 第3章 むずかしくないテレビ/DVD/CDなどを楽しむ
- 第4章 パソコンを使いながらテレビ/DVD/CDを楽しむ
- 第5章 デジタル放送を楽しむ
- 第6章 困ったときのQ&A



このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行する場合

このパソコンには、今までお使いになっていたパソコンの設定や必要なデータの移行をガイドする「PC 乗換ガイド」というソフトウェアが用意されています。このソフトウェアを使うと、インターネットや E メールの利用環境を、そのままこのパソコンで使うことができます。

このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行するときにお使いください。

使用上の注意

「PC 乗換ガイド」をお使いになる場合には、次の点にご注意ください。

- ・今までお使いになっていたパソコンが、次の OS の場合のみお使いいただけます。
 - Microsoft® Windows® XP Home Edition
 - Microsoft® Windows® XP Professional
 - Microsoft® Windows® 2000 Professional
 - Microsoft® Windows® Millennium Edition
 - Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION
 - Microsoft® Windows® 98
- ・「PC 乗換ガイド」を実行すると、このパソコンに設定した情報やデータに、お使いになっていたパソコンの情報が上書きされます。

「PC 乗換ガイド」は、このパソコンに設定などを行う前に実行してください。
「インターネットを始めるための準備をする」(⇒P.67) の前に、「PC 乗換ガイド」を実行されることをお勧めします。

「PC 乗換ガイド」の起動

1 「@メニュー」を起動します。

次のいずれかの操作で起動できます。

- ・キーボードの「メニュー」ボタンを押す。
- ・「スタート」ボタン→「@メニュー」の順にクリックする。

2 「@メニュー」で上部の「名前でさがす」をクリックし、「安心・サポート」をクリックします。

3 「PC 乗換ガイド」をクリックします。

4 これ以降は、画面の指示に従って操作してください。

この後の章では、メモリの増やし方 (⇒P.93)、仕様一覧 (⇒P.107) などが記載されています。目的に合わせてお読みください。

Memo

5

第5章

周辺機器の設置／設定／増設

周辺機器の使用上の注意やメモリの増やし方などを説明しています。目的に合わせてお読みください。

1 周辺機器をお使いになる前に	86
2 本体カバーを取り外す／取り付ける	89
3 メモリの増設／交換	93
4 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定	100
5 リモコンについて	105

ここでは、メモリ、キーボード、マウス、リモコンなどの周辺機器をお使いになる前に知っておいていただきたいことについて説明します。

⚠ 警告



- 周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。
- 周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

周辺機器とは？

メモリ、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなどの装置のことです。パソコン本体内部に取り付けたり、パソコンの各コネクタに接続したりします。

ここでは、このパソコンに添付されているキーボード、マウス、リモコンも含めて説明しています。

周辺機器をパソコン本体内部に取り付ける場合は、パソコン本体カバーを取り外す必要があります。パソコン本体カバーの取り外し方と取り付け方については、「本体カバーを取り外す／取り付ける」(☞P.89)、または~~□~~(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「8.周辺機器の接続」→「本体カバーを取り外す／取り付ける」をご覧ください。

周辺機器を取り付けると

メモリを取り付けてパソコンの処理能力を上げたり、プリンタを接続して印刷したりなど、パソコンでできることがさらに広がります。

また、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込んで、Eメールに添付したりできます。

周辺機器を取り付けるには

周辺機器の取り付け方は、~~□~~(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「8.周辺機器の接続」または「7.パソコン本体の取り扱い」に記載されています。また、本マニュアル内では、次の周辺機器についても記載しています。

「メモリの増設／交換」(☞P.93)

「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定」(☞P.100)

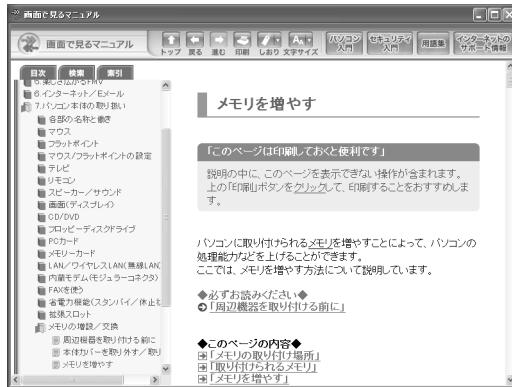
「リモコンについて」(☞P.105)

お使いになる周辺機器のマニュアルとあわせてご覧ください。

「画面で見るマニュアル」で調べる

1 表示される画面の中から取り付けたい周辺機器をクリックします。

例えば、メモリを取り付ける場合は、「7. パソコン本体の取り扱い」→「メモリの増設／交換」→「メモリを増やす」をクリックします。



POINT

手順の中に「動画を見る」というボタンがあるとき

ボタンをクリックすると、インターネットに接続して手順の動画をご覧いただけます。このとき、FMVユーザー登録で発行された「ユーザー登録番号」と「パスワード」が必要です。ユーザー登録については、『サポート&サービスのご案内』をご覧ください。

「画面で見るマニュアル」の使い方については、『F MV 活用ガイド』→「パソコンの画面で見るマニュアルを活用する」をご覧ください。

周辺機器の取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

・周辺機器は、弊社純正品をお使いいただくことをお勧めします

純正品が用意されている周辺機器については、純正品以外を取り付けて、正常に動かなかつたり、パソコンが故障しても、保証の対象外となります。

純正品が用意されていない周辺機器については、このパソコンに対応しているかどうかをお使いの周辺機器メーカーにご確認ください。

・Windows のセットアップは終了していますか？

「初めて電源を入れる～Windows のセットアップ」(P.48)をご覧になり、Windows のセットアップを行ってください。

なお、セットアップを行うときは周辺機器を取り付けないでください。セットアップが正常に行われないことがあります。

・周辺機器に添付のドライバがお使いのWindowsに対応しているか確認してください

お使いになる周辺機器のドライバがお使いのWindowsに対応していないと、その周辺機器はお使いになられません。必ずお使いのWindowsに対応したものをご用意ください。

・ドライバなどがフロッピーディスクで添付されている場合

周辺機器によっては、添付のドライバなどがフロッピーディスクで提供されているものがあります。その場合は、オプションのFDDユニット(USB)(FMFD-51SまたはFMFD-51SZ)をご購入になり、接続した上でドライバをインストールしてください。

・ACPIに対応した周辺機器をお使いください

このパソコンは、ACPI（省電力に関する電源制御規格の1つ）によって電源制御を行っていますので、周辺機器もACPIに対応している必要があります。

ACPIに対応していない周辺機器をお使いの場合は、増設した機器やパソコンが正常に動作しなくなることがあります。周辺機器がACPIに対応しているかどうかは、周辺機器メーカーにお問い合わせください。

また、このパソコンのACPIモードは、スタンバイ（ACPI S3）に設定されています。

・一度に取り付ける周辺機器は1つだけに

一度に複数の周辺機器を取り付けると、ドライバのインストールなどが正常に行われないおそれがあります。1つの周辺機器の取り付けが終了して、動作確認を行ってから、別の周辺機器を取り付けてください。

・パソコンおよび接続されている機器の電源を切ってください

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。パソコンの電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。パソコン本体の電源の切り方については、「電源を切る」（ P.62）をご覧ください。

・電源を切った直後は作業をしないでください

電源を切った直後は、パソコン本体内部の装置が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後10分ほど待ってから作業を始めてください。

・電源ユニットは分解しないでください

電源ユニットは、パソコン本体内部の背面側にある箱形の部品です。

・フット（縦置き用設置台）を取り外した後は、柔らかい布の上などで作業してください

固い物の上に直接置いて作業すると、パソコン本体に傷が付くおそれがあります。

・内部のケーブル類や装置の扱いに注意してください

傷付けたり、加工したりしないでください。また、ねじったり、極端に曲げたりしないでください。

・静電気に注意してください

内蔵周辺機器は、基板や電子部品がむきだしになっています。これらは、人体に発生する静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、一度大きな金属質のものに手を触れるなどして静電気を放電してください。

・基板表面やはんだ付けの部分、コネクタ部分には手を触れないでください

金具の部分や、基板のふちを持つようにしてください。

・周辺機器の電源について

周辺機器の電源はパソコン本体の電源を入れる前に入れるもののが一般的ですが、パソコン本体よりも後ろに電源を入れるものもあります。周辺機器のマニュアルをご覧ください。

・パソコン本体前面に周辺機器を取り付ける場合、フラップは開いた状態でお使いください

PCカードなどをセットしたり、IEEE1394（DV）ケーブル、USBケーブルを接続した状態で無理に閉めようとすると、PCカード取り出しボタンや周辺機器のケーブル、フラップが破損するおそれがあります。

・ドライバーを用意してください

パソコン本体の本体カバー、スロットカバーや金具などの取り外しには、プラスのドライバーが必要です。

ネジの頭をつぶさないように、ネジのサイズに合ったドライバーをご用意ください。

2 本体力バーを取り外す／取り付ける

ここでは、メモリなどパソコン内部に周辺機器を取り付ける場合に必要な本体力バーの取り外し方と取り付け方について説明します。

⚠ 警告



- ・本体力バーを取り外すときまたは取り付けるときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。
- ・取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

⚠ 注意



- ・本体力バーの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。
指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。
- ・基板表面上の突起物には手を触れないでください。
けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

☞ 重要

周辺機器の取り付け手順を印刷しておいてください

拡張カードなど、操作の途中で電源を切る必要のある周辺機器については、「画面で見るマニュアル」の該当ページの先頭に「このページは印刷しておくと便利です」と記載されています。操作を始める前に、「画面で見るマニュアル」の該当ページをプリンタで印刷してご覧ください。
メモリについては、「メモリの増設／交換」(☞ P.93) をご覧ください。

POINT

本体力バーを取り外す／取り付けるときの注意

- ・本体力バーを取り外すときまたは取り付けるときは、PC カード取り出しボタンが飛び出していないか確認してください。
- ・周辺機器を取り付けるときは、フット（縦置き用設置台）を取り外した後、柔らかい布の上などで作業してください。固い物の上に直接置いて作業すると、パソコン本体に傷が付くおそれがあります。

本体力バーの取り外し手順／取り付け手順の動画を見ることができます

FMV 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページ (<http://azby.fmworld.net/>) で、本体力バーの取り外し手順／取り付け手順の動画がご覧になります。

本体力バーを取り外す

1 パソコン本体と接続されている周辺機器の電源を切ります。

パソコン本体の電源の切り方については、「電源を切る」(▶P.62)をご覧ください。

2 電源プラグをコンセントから抜きます。

電源を切った直後は、パソコン本体内部の装置が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後 10 分ほど待ってください。

※重要

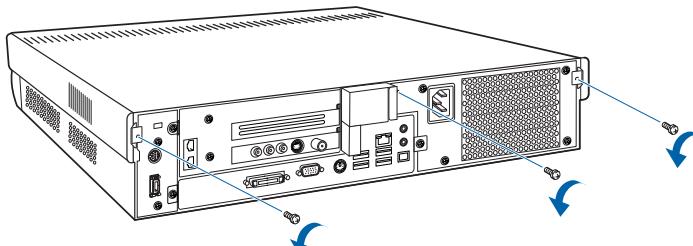
電源プラグはコンセントから抜いてください

パソコン本体の電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。必ず電源プラグをコンセントから抜いたことを確認してください。

3 パソコン本体に接続されている機器をすべて取り外します。

4 パソコン本体を縦置きで使っている場合は、フット（縦置き用設置台）をパソコン本体から取り外し、横置きにします。

5 パソコン本体背面のネジ（3ヶ所）をプラスのドライバーで回して外します。

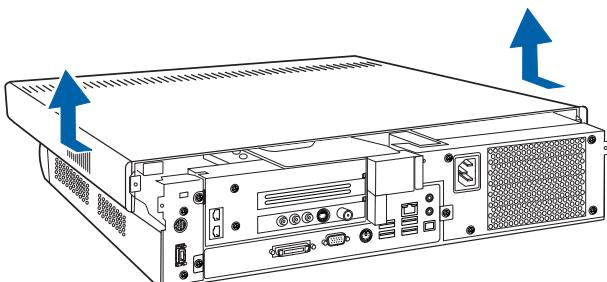


(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

6 本体カバーを矢印の方向に取り外します。

パソコン本体前面に向けてつきあたるまでスライドさせた後、まっすぐ上に持ち上げてください。

お使いの機種により、本体カバーの取り外しが硬く感じる場合があります。



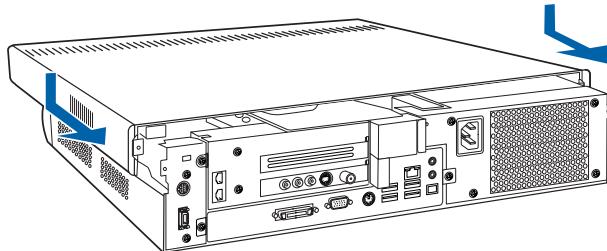
周辺機器の取り付け方は、お使いになる周辺機器によって異なります。本体カバーを取り外した後の周辺機器の取り付け方については、印刷した周辺機器の取り付け手順をご覧ください。

本体力バーを取り付ける

1 本体力バーを矢印の方向に取り付けます。

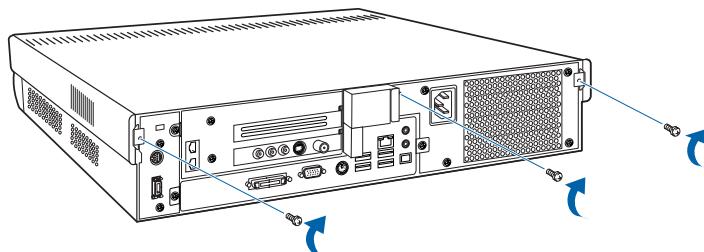
本体力バーの後側をラベルの線に合わせて、まっすぐに下ろします。

パソコン本体背面に抜けてつきあたるまでスライドさせ、最後までしっかりと押し込んでください。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

2 パソコン本体背面のネジ（3ヶ所）をプラスのドライバーで回して取り付けます。



3 パソコン本体を縦置きで使っている場合は、フット（縦置き用設置台）を取り付けます。

4 パソコン本体に接続されていた機器をすべて取り付けます。

5 パソコン本体および接続されている機器の電源プラグを、コンセントに差し込みます。

3 メモリの増設／交換

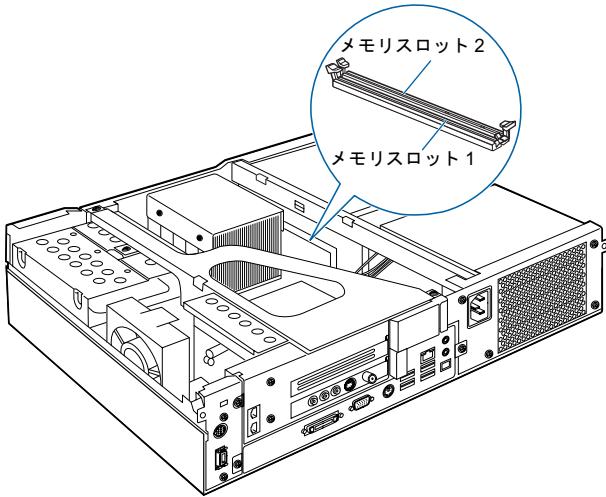
パソコンに取り付けられるメモリを増やすことによって、パソコンの処理能力などを上げることができます。ここでは、メモリを増やす方法について説明します。

メモリの取り付け場所

メモリは、パソコン本体内部のメモリスロットに取り付けます。

ご購入時はメモリスロット1と2にそれぞれ256MBのメモリが1枚ずつ取り付けられています。メモリは最大1GB(512MB×2枚)まで増やせます。

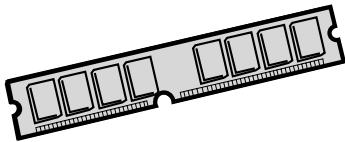
メモリ容量を増やすには、あらかじめ取り付けられているメモリ(メモリスロット1、2)を取り外して交換します。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

取り付けられるメモリ

お使いになれるメモリは次の種類です。



- ・種類: DDR (ディーディーアール) SDRAM (エスディーラム) DIMM (ディム) (SPD付き)
- ・メモリバスクロック: PC-3200 (400MHz)
- ・ピン数: 184 ピン
- ・容量: 256MB、512MB
- ・ECC: なし

重要

取り付けるメモリについて

このパソコンに取り付けるメモリは、同じ容量のものを2枚1組でお使いください。

メモリバスクロックについて

このパソコンに取り付けるメモリは、PC-3200 対応のものをお使いください。

POINT

SPD (エスピーディー)

Serial Presence Detect の略で、メモリの機能のひとつです。

必ず SPD 付きのメモリをご購入ください。なお、弊社製のDIMMは、SPD付きです。

ECC (イーシーシー)

Error Correcting Code の略で、データの中の誤りを検出し、訂正する機能のことです。

このパソコンでは使いません。

メモリの組み合わせ表

次の表で、メモリの容量とメモリスロットの組み合わせを確認してください。

次の表以外の組み合わせにすると、パソコンが正常に動作しない場合があります。

総容量	メモリスロット1 (DIMM1)	メモリスロット2 (DIMM2)
512MB (ご購入時)	256MB	256MB
1GB (最大)	512MB [注]	512MB [注]

注: あらかじめ取り付けられているメモリを交換します。

メモリの取り扱い上の注意

⚠ 警告



- メモリの取り付けまたは交換を行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

⚠ 注意



- メモリの取り付けまたは交換を行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

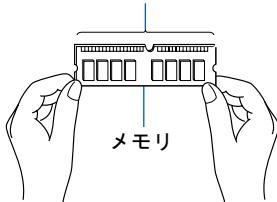


- 基板表面上の突起物には手を触れないでください。
けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

メモリを取り付けるときの注意

- メモリを取り付けるときは、メモリの差し込み方向をお確かめのうえ、確実に差し込んでください。誤ってメモリを逆方向に差したり、差し込みが不完全だったりすると、故障の原因となることがあります。
- メモリは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体に留まった静電気により破壊される場合があります。メモリを取り扱う前に、一度金属質のものに手を触れて、静電気を放電してください。
- メモリは何度も抜き差ししないでください。故障の原因となることがあります。
- メモリの表面の端子やIC部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないようにしてください。
- メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてから再度メモリを取り付け直してください。
- メモリは下図のようにふちを持ってください。金色の線が入っている部分（端子）には、絶対に手を触れないでください。

この部分には手を触れないでください。



- メモリを取り付けるときは、フット（縦置き用設置台）と本体カバーを取り外した後、柔らかい布の上などで作業してください。固い物の上に直接置いて作業すると、パソコン本体に傷が付くおそれがあります。

メモリを増やす

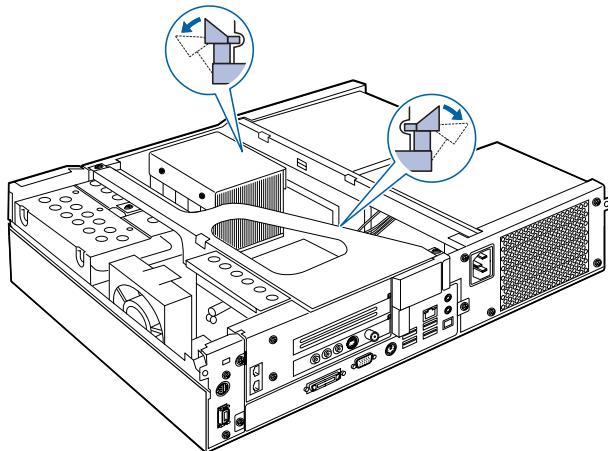
ここでは、メモリを増やす方法を説明します。

POINT

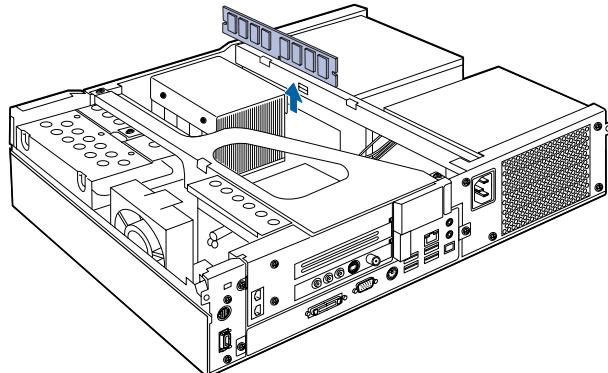
メモリの取り付け手順の動画を見ることができます

FMV 活用サイト AzbyClub（アズビックラブ）ホームページ (<http://azby.fmworld.net/>) で、メモリの取り付け手順の動画がご覧になれます。

- 1 「本体カバーを取り外す」(⇒P.90) をご覧になり、本体カバーを取り外します。**
- 2 メモリの取り付け場所とメモリ容量の組み合わせを確認します。**
メモリの取り付け場所については、「メモリの取り付け場所」(⇒P.93) をご覧ください。
メモリ容量と組み合わせについては、「メモリの組み合わせ表」(⇒P.94) をご覧ください。
- 3 取り外したいメモリのメモ里斯ロットの両側のレバーを外側に開きます。**

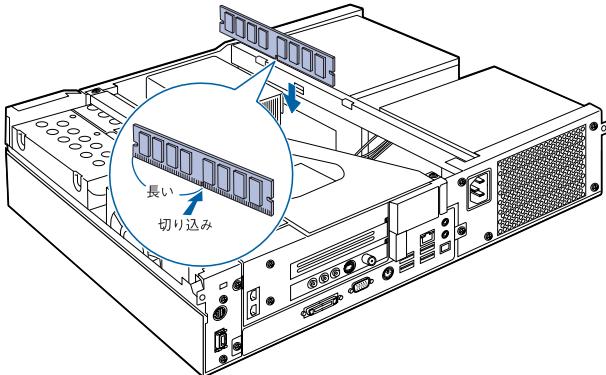


- 4 メモリを上に引き抜きます。**



5 新しいメモリをメモリスロットに差し込みます。

端子に切り込みが入っている部分から端までの距離が長いほうをパソコン本体背面側に向けて、メモリスロットの上からまっすぐ下に差し込んでください。
メモリがメモリスロットに差し込まれると、スロット両側のレバーが自動的に閉じて、メモリがロックされます。
必ず、メモリがロックされたことを確認してください。



重要

メモリを取り付けるときは

- ・端子や IC に触れないようにして、両手でメモリのふちを持って取り付けてください。
- ・メモリの表面の端子や IC 部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないでください。
- ・メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてから再度メモリを取り付け直してください。無理にメモリを取り付けようすると、メモリやコネクタが破損する原因となります。

メモリの向きについて

メモリの方向をよく確認して正しく差し込んでください。無理に差し込むと故障の原因となります。

6 「本体カバーを取り付ける」(⇒P.92) をご覧になり、本体カバーを取り付けます。

この後、「メモリ容量を確認する」(⇒P.98) をご覧になり、取り付けたメモリが使える状態になっているかを確認してください。

メモリ容量を確認する

メモリを取り付けた後、増やしたメモリが使える状態になっているかを確認してください。必ず、本体カバーを取り付けてから確認作業を行ってください。

1 パソコン本体の電源を入れます。

「電源を入れる」(☞P.65)をご覧ください。

POINT

画面に何も表示されないときは

メモリが正しく取り付けられていないと、パソコンの電源を入れたとき画面に何も表示されない場合があります。

その場合は、電源ボタンを4秒以上押し続けてパソコンの電源を切り、電源プラグを抜いた後、メモリを取り付け直してください。

2 パソコンが起動したら、「スタート」ボタンをクリックします。

3 「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 丸で囲んだ部分の数値が、増やしたメモリの分だけ増えているかを確認します。



(画面は機種や状況により異なります)

画面は、512MBのメモリ2枚に交換して、1GBに増やした例です。

このパソコンではメモリの一部をグラフィック用メモリとして使用するため、実際のメモリ容量より少なく表示されます。

SCSIカードの増設などお使いのシステム構成によってはさらに1～2MB少なく表示される場合があります。

5 「OK」をクリックします。

メモリ容量の数値が増えていなかった場合は、次のことを確認してください。

- ・増やしたメモリがこのパソコンで使える種類のものか
「取り付けられるメモリ」(⇒P.94)
- ・メモリがメモリスロットにきちんと差し込まれているか
「メモリを増やす」(⇒P.96)
- ・正しいスロットに取り付けられているか
「メモリの取り付け場所」(⇒P.93)
- ・メモリを正しく組み合わせているか
「メモリの組み合わせ表」(⇒P.94)

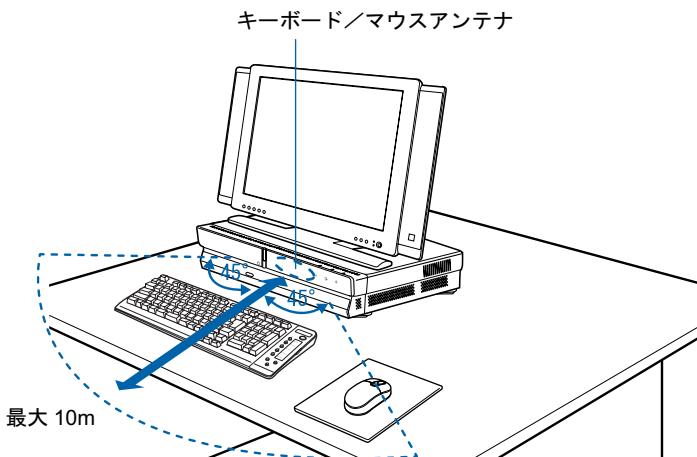
4 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定

ここでは、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの ID を設定する方法などを説明します。

使用に適した配置

ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスは、次のような場所でお使いください。
なお、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。
信号を受けるキーボード／マウスアンテナは、パソコン本体に内蔵されています。

- ・机の上など平らで安定した場所
- ・パソコン本体と同じくらいの高さで、操作に十分なスペースが取れる場所
- ・パソコン本体から最大 10m（3m 以内を推奨）、左右約 45 度の範囲



重要

ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスをお使いになるときの注意事項

- ・次のような環境では、周囲からの電波を受けて、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスがうまく動作しないことがあります。設置場所を変えるなど、通信の妨げとなる原因を取り除いてください。
 - ・ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの送信部とキーボード／マウスアンテナとの距離が離れてすぎている場合
 - ・パソコン本体とワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの間に、電気・電子機器や金属製のものを置いている場合
 - ・パソコン本体をスチール机やスチール棚のような金属製の台の上に載せている場合
 - ・周囲でノイズ源となる電気・電子機器（無線機器を含む）を使用している場合
 - ・パソコン本体周辺に金属製の物（スチール製の机、金属部分がある机）がある場合
 - ・周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している機器がある場合
(パソコンを複数台でお使いの場合や、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合、または無線局の近隣でお使いの場合など)
 - ・パソコン本体を電子レンジの近くに置いていている場合
 - ・ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使用したパソコンを近くで使用している場合

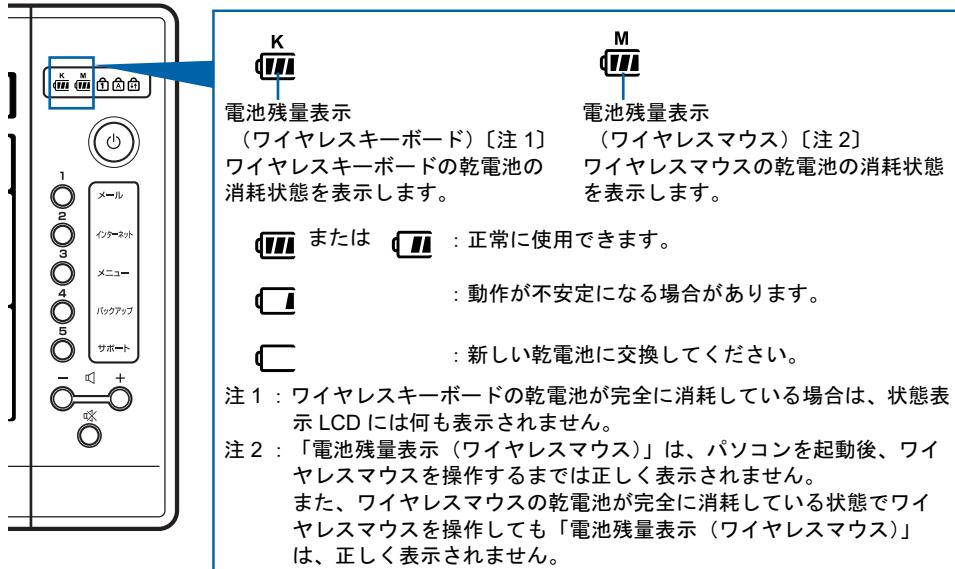
このような場合には、パソコン本体の向きや位置を変えたり、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの ID を設定しなおしたりすることによって、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスが正常に動作する状態でお使いください。

- ・ワイヤレスマウスは電池の消耗を抑えるため、動かさない状態が約 10 秒続くと光学センサーを完全に消灯しスリープモードに入りますが、振動の検出によりスリープモードから復帰します。そのため、ワイヤレスマウスには振動を検出するためのモーションセンサーが内蔵されています。ワイヤレスマウスを振るとカラカラという音がしますが、これはモーションセンサーの振動検出機構の音であり、故障ではありません。そのままお使いください。

乾電池について

このパソコンに添付されているワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの乾電池について説明します。

- ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。
すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。
- 乾電池の寿命の目安は、毎日2時間の使用で、ワイヤレスキーボードは約6ヶ月、ワイヤレスマウスは約3ヶ月です。
ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります。
乾電池の交換時には、市販の単3型アルカリ乾電池2本をご使用ください。
- 必ずアルカリ乾電池をお使いください。
アルカリ乾電池以外の乾電池（マンガン乾電池、充電式乾電池など）をお使いになると、十分な機能・性能で動作しない場合があります。
- パソコンを操作していないときは、なるべく動かさないようにしてください。
パソコン本体の電源が入っていなくても、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが動作していると乾電池が消費されます。また、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスの上に物を載せたままにしないようにご注意ください。
- 長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスを使用せずに放置していても、乾電池が消費されます。長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスの乾電池の消耗状態は、ワイヤレスキーボードの状態表示LCDに表示されるインジケータをご覧になり、消耗している場合はお早めに新しい乾電池に交換してください（表示は目安です）。なお、ワイヤレスキーボードの乾電池が完全に消耗している場合は、状態表示LCDには何も表示されません。



乾電池を交換する

⚠ 注意



- ・電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- ・使い切って寿命のなくなった乾電池はすぐに取り出してください。電池の液漏れなどの原因となることがあります。

ワイヤレスキー ボード／ワイヤレスマウスの乾電池を交換する方法については、「キーボード／マウスを準備する」(⇒P.35) をご覧ください。



POINT

乾電池の使用推奨期限を確認してください

乾電池が使用推奨期限を過ぎていないか、確認してお使いください。

ID 設定をする

このパソコンに添付されているワイヤレスキー ボードおよびワイヤレスマウスの ID 設定方法について説明します。

ID は、ワイヤレスキー ボード／ワイヤレスマウスの電波の混信や誤動作を避けるため、対となっているパソコン本体との間でしかワイヤレスキー ボード／ワイヤレスマウスが動作しないように設定する識別子です。**ご購入時は ID は設定されていませんので、ご使用前に必ず設定してください。設定を行わないと使用できません。**

⚠ 重要

設定をする前に確認してください

- ・「使用上のお願い」(⇒P.23) をご覧になり、パソコンを設置している環境を確認してください。
- ・パソコン本体の電源を入れた状態で設定してください。パソコン本体の電源が入っていないときや、省電力機能が働いているときは設定することはできません。

乾電池の交換などで乾電池を抜いても ID 設定は保持されます

乾電池の交換などで乾電池を抜いても、ワイヤレスキー ボード／ワイヤレスマウスの ID 設定値は保持されます。再設定する必要はありません。

ワイヤレスキー ボード／ワイヤレスマウスが使えなくなったときなどは

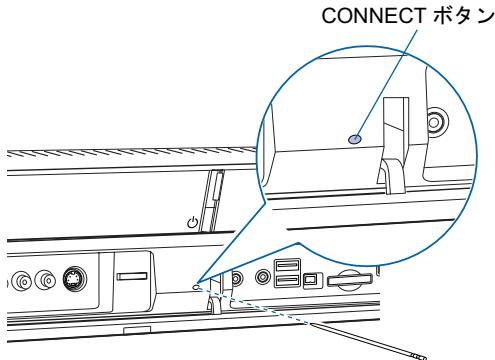
ワイヤレスキー ボード／ワイヤレスマウスが使えなくなったときや、このパソコンを複数台お使いの場合で混信や誤動作するときは、再度 ID 設定を行ってください。

ワイヤレスキーボードの ID 設定をする

1 パソコン本体前面の CONNECT ボタンを 1 回押します。

電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。

■パソコン本体前面

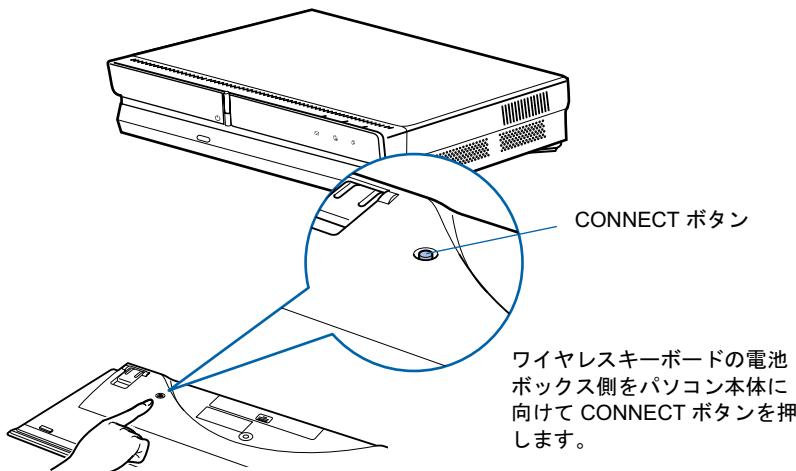


2 ワイヤレスキーボード裏面の CONNECT ボタンを指で 1 回押します。

指で押しにくい場合は、ペンの先などでボタンの中央を押してください。

パソコン本体の CONNECT ボタンを押してから、約 10 秒以内に押してください。

ID が自動的に設定されます。



3 ワイヤレスキーボードを操作します。

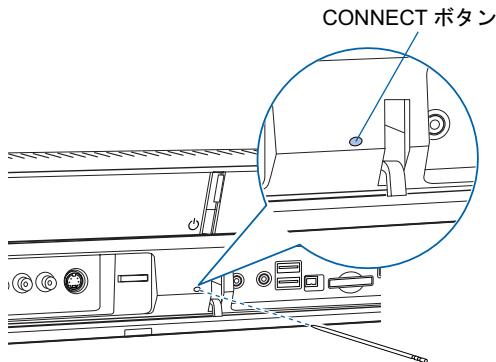
ワイヤレスキーボードの状態表示 LCD が点灯するか、ワイヤレスキーボードを操作して正常に動作すれば設定完了です。状態表示 LCD が点灯しない、または正常に動作しない場合は、手順 1 (⇒P.103) からもう一度設定を行ってください。

ワイヤレスマウスの ID 設定をする

1 パソコン本体前面の CONNECT ボタンを 1 回押します。

電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。

■パソコン本体前面

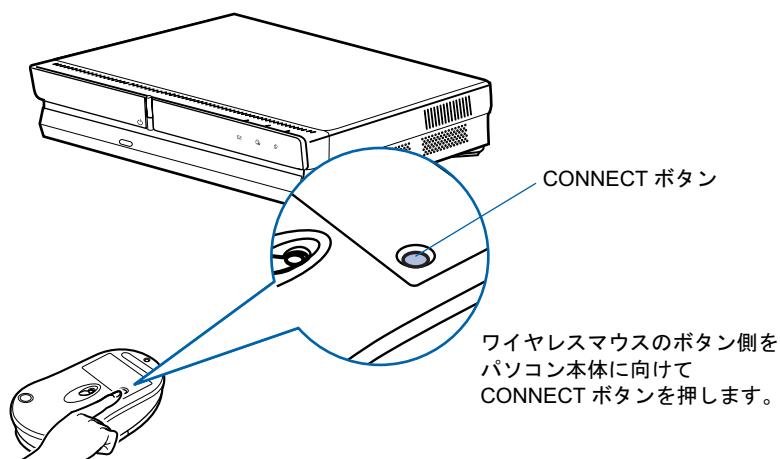


2 ワイヤレスマウス裏面の CONNECT ボタンを指で 1 回押します。

指で押しにくい場合は、ペンの先などでボタンの中央を押してください。

パソコン本体の CONNECT ボタンを押してから、約 10 秒以内に押してください。

ID が自動的に設定されます。



3 ワイヤレスマウスを操作します。

マウスカーソルを動かし、正常に動作すれば設定完了です。正常に動作しない場合は、手順 1 (…▶P.104) からもう一度設定を行ってください。

5 リモコンについて

ここではリモコンをお使いになる際の注意事項、乾電池の交換方法について説明しています。リモコンの操作方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7. パソコン本体の取り扱い」→「リモコン」→「リモコンについて」をご覧ください。

△重要

添付のリモコンを使用してください

本製品に添付のリモコンを使用して操作してください。

乾電池を交換する

△注意



- ・電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- ・使い切って寿命のなくなった乾電池はすぐに取り出してください。電池の液漏れなどの原因となることがあります。

リモコンの乾電池を交換する方法については、「リモコンに乾電池を入れる」（P.41）をご覧ください。

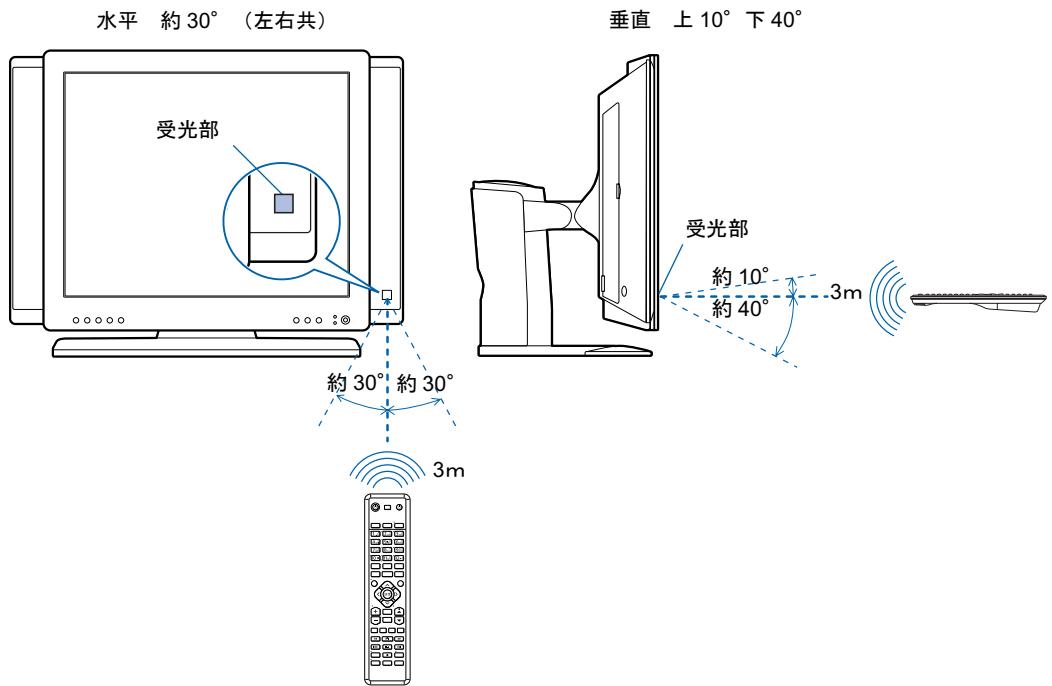
リモコンをお使いになる場合の注意

リモコンをお使いになる場合は、次の点にご注意ください。

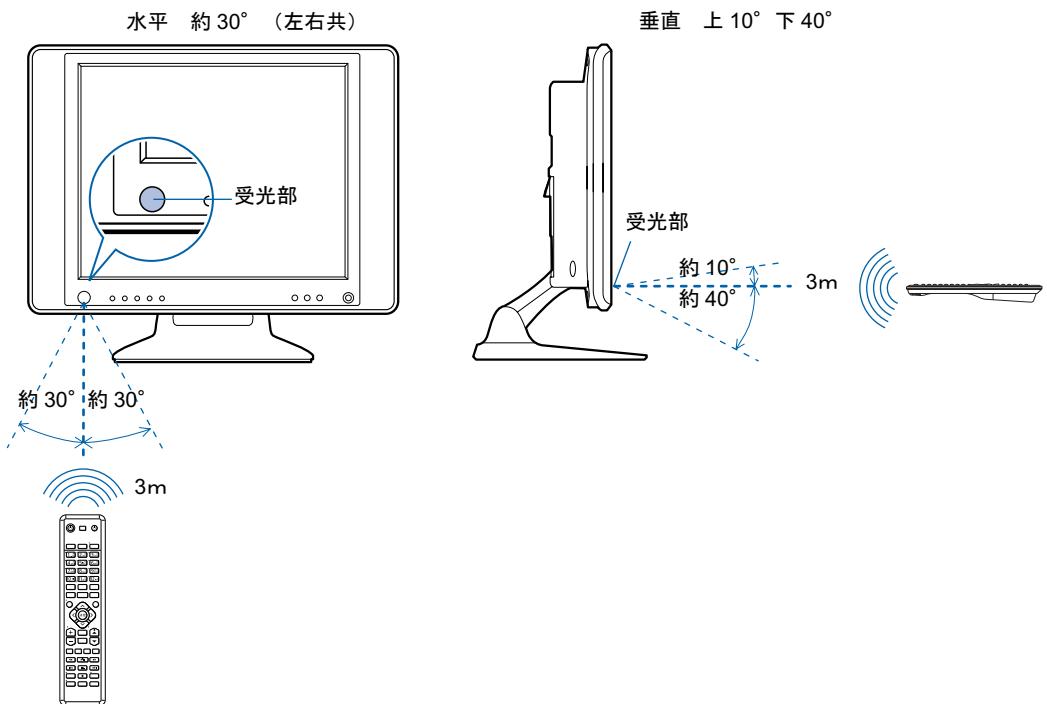
- ・リモコンをお使いになる場合には、リモコンマネージャーが起動している必要があります。画面右下の通知領域に（リモコンマネージャー）が表示されているか、確認してください。リモコンマネージャーについては、（サービスアシスタント）のトップ画面→「9. 添付ソフトウェア一覧（読み別）」→「らりるれろ」→「リモコンマネージャー」をご覧ください。
- ・信号が受けやすいように、リモコンをディスプレイの受光部に向けてください。
- ・ディスプレイの受光部とリモコンの間に障害物がない場所に設置してください。
- ・直射日光などの強い光があたる場所での使用は避けてください。使用距離が短くなる場合があります。
- ・リモコンをプラズマディスプレイ／プラズマテレビ／ハロゲンヒーターなどの近くでお使いになると、リモコンが正常に動作しないことがあります。これはプラズマディスプレイ／プラズマテレビ／ハロゲンヒーターなどから放射される赤外線により、リモコンと液晶ディスプレイの受光部との通信が妨害されるために起こる現象です。
- ・このようなときは、本液晶ディスプレイまたはプラズマディスプレイ／プラズマテレビ／ハロゲンヒーターなどの設置場所を変更してください。

液晶ディスプレイのリモコン受光部使用可能範囲

■ 19型液晶ディスプレイ（TVチューナー内蔵）の場合



■ 17型液晶ディスプレイ（TVチューナー内蔵）の場合



6

第6章

仕様一覧

1 パソコン本体の仕様	108
2 その他の仕様	111

1 パソコン本体の仕様

製品名称	FMV-DESKPOWER H70L9V	FMV-DESKPOWER H70L7V
CPU	AMD Athlon™ 64 プロセッサ 3200+	
キャッシュメモリ	1 次 : 64KB データ +64KB 命令、2 次 : 512KB (CPU 内蔵)	
チップセット	ATI RADEON® XPRESS 200/ULi M1573	
システムバスクロック	1000MHz	
メインメモリ	標準 512MB (PC3200 DDR SDRAM DIMM) ECC なし 最大 1GB	
メモリスロット	× 2 (空きスロットなし)	
表示機能	グラフィック アクセラレータ ビデオメモリ ディスプレイ ^{注1} 解像度／発色数	ATI RADEON® XPRESS 200+Chrontel CH7303 64MB (メインメモリと共に) 19 型デジタル液晶 (TV チューナー内蔵) (スピーカー内蔵、リモコン受光器内蔵) 17 型デジタル液晶 (TV チューナー内蔵) (スピーカー内蔵、リモコン受光器内蔵) 最大 1280 × 1024 ドット / 最大 1677 万色 ^{注2}
フロッピーディスクドライブ ^{注3}	FDD ユニット (USB) (別売)	
ハードディスクドライブ ^{注4}	500GB (250GB × 2 Serial ATA150)	400GB (200GB × 2 Serial ATA150)
CD/DVD ドライブ	スーパーマルチドライブ ^{注5}	
オーディオ機能	オーディオコントローラ PCM 録音再生機能 MIDI 再生機能	チップセット内蔵 + AC97 コーデック サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビットステレオ、同時録音再生対応 OS 標準機能にてサポート
通信機能	モデム LAN	データ : 最大 56kbps (V.90 規格準拠) ^{注6} / FAX : 最大 14.4kbps 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠 ^{注7}
テレビ機能	テレビチューナー 録画形式	受信チャンネル ^{注8} : VHF (1 ~ 12ch)、UHF (13 ~ 62ch)、CATV (C13 ~ C63ch) ステレオ、 音声多重対応 MPEG2 (ハードエンコード) ^{注9} 3 次元 Y/C 分離、ゴーストリダクション
インターフェース	PC カード SD カード / メモリースティック /xD- ピクチャーカード ^{注10} ディスプレイ ^{注11} キーボード USB ^{注13} IEEE1394 (DV) モデム LAN テレビ オーディオ	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 2 スロット または Type III × 1 スロット (CardBus 対応) × 1 スロット アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン 付属ディスプレイ専用コネクタ 30 ピン ^{注12} 映像出力 (S ビデオ × 1、NTSC) D2 映像 × 1 PS/2 準拠 Mini-DIN 6 ピン × 1 (キーボード用) USB2.0 準拠 × 6 (前面 × 2、背面 × 4) 4 ピン × 1 (S400) RJ-11 × 2 (LINE × 1、PHONE × 1) RJ-45 × 1 アンテナ入力 (F 型同軸) × 1、ビデオ入力 (S ビデオ × 2、コンポジット × 2)、 ビデオ音声入力 (右 / 左) × 2 マイク : φ 3.5mm ミニジャック (入力 : 100mV 以下、入力インピーダンス (AC) 10kΩ 以上 (DC) 2kΩ 以上)、ヘッドホン : φ 3.5mm ステレオ・ミニジャック (出 : 1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω)、光デジタルオーディオ出力 : 角形、ラインイン : φ 3.5mm ステレオ・ミニジャック、ライ ンアウト : φ 3.5mm ステレオ・ミニジャック
拡張スロット数	PCI × 2 (うち 1 つに TV チューナーカード搭載)	
電源 / 周波数	AC100V 50/60Hz	

注記については、「仕様一覧の注記について」(☞ P.110) をご覧ください。

製品名称		FMV-DESKPOWER H70L9V	FMV-DESKPOWER H70L7V
消費電力	電源 OFF 時 ^{注14}	6W 以下	
	動作時	通常約 80W ^{注15} 最大 243W ^{注15} スタンバイ時約 10W ^{注15} ディスプレイ消費電力：最大 60W	通常約 87W ^{注15} 最大 243W ^{注15} スタンバイ時約 8W ^{注15} ディスプレイ消費電力：最大 36W
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 ^{注16}		Q 区分 0.00149	
省エネルギー基準達成率		AAA	
外形寸法		横置き時 W446 × D410 × H102mm (フット (横置き用)・突起部含む) 縦置き時 W237 × D410 × H471mm (フット (縦置き用設置台) 含む)	
質量		約 12kg (フット (縦置き用設置台) を除く)	
盗難防止用ロック		あり	
温湿度条件		温度 10 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 90%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)	
プレインストール OS		Windows XP Home Edition ^{注17} (DirectX:9.0c 対応)	
サポート OS		Windows XP Home Edition ^{注18} 、Windows XP Professional ^{注18 注19}	

注記については、「仕様一覧の注記について」(**▶ P.110) をご覧ください。

仕様一覧の注記について

- 注 1 : 液晶ディスプレイの特性について
・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 注 2 : 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 注 3 : グラフィックアクセラレータの出力する最大発色数は 1677 万色ですが、液晶ディスプレイではディザリング機能によって、擬似的に表現されます。
- 注 4 : このパソコンにはフロッピーディスクドライブは内蔵されていません。オプション品の FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) をお買い求めの上、お使いください。
なお、FDD ユニットの接続と取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
・FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) を接続すると、デスクトップの (マイコンピュータ) 内にドライブが表示され、フロッピーディスクとして使うことができます。
・FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) では、次のフロッピーディスクは使用できません。
　・OASYS 文書フロッピイ
　・640KB でフォーマットしたフロッピーディスク
・FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) では、次のフロッピーディスクは、データの読み書きはできませんが、フォーマットはできません。
　・1.25MB でフォーマットしたフロッピーディスク
　・1.23MB でフォーマットしたフロッピーディスク
　・720KB でフォーマットしたフロッピーディスク
- 注 5 : このマニュアルに記載のディスク容量は、1MB=1000²byte、1GB=1000³byte 換算によるものです。
Windows 上で 1MB=1024²byte、1GB=1024³byte 換算で表示される容量は、このマニュアルに記載のディスク容量より少なくなります。
また、ハードディスク領域サイズの変更は、サポートしていません。
- 注 6 : ドライブの主な仕様は次の通りです。
- | | |
|--------------|--|
| スーパーマルチ ドライブ | CD-ROM/CD-R 読出：最大 40 倍速、CD-RW 読出：最大 40 倍速、DVD-RAM 読出：最大 5 倍速 (4.7/9.4GB)、最大 2 倍速 (2.6/5.2GB)、DVD-ROM 読出：最大 16 倍速、DVD-R 読出：最大 10 倍速、DVD-RW 読出：最大 8 倍速、DVD+R 読出：最大 10 倍速、DVD+R DL 読出：最大 8 倍速 (8.5GB)、DVD+RW 読出：最大 8 倍速、CD-R 書込：最大 40 倍速、CD-RW 書込：最大 10 倍速、DVD-RAM 書込：最大 5 倍速 (4.7/9.4GB)、DVD-R 書込：最大 16 倍速、DVD-RW 書込：最大 6 倍速、DVD+R 書込：最大 16 倍速、DVD+R DL 書込：最大 4 倍速 (8.5GB)、DVD+RW 書込：最大 8 倍速 |
|--------------|--|
- 注 7 : 56000bps は、V.90 の理論上の最高速度であり、実際の通信速度は回線の状況により変化します。
詳しくは、(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「2. 関連するマニュアル」→「内蔵モデル」をご覧ください。
- 注 8 : 本パソコンには 100BASE-T の LAN が搭載されています。
- 注 9 : 本パソコンの LAN 機能は、100BASE-TX の次期規格として規定される 1000BASE-T に対応し、1Gbps (1000Mbps) の高速なデータ通信をサポートします。
また、従来の 100BASE-TX、10BASE-T もサポートしているため、通信速度の自動認識を行い、既存のローカル・エリア・ネットワーク (LAN) にそのまま接続することができます。
- 注 10 : 地上デジタル放送、BS/CS 放送のチャンネルは受信できません。
- 注 11 : テレビ番組の録画などは、お客様個人またはご家庭で楽しむ目的でのみ、ご利用ください。
- 注 12 : ビデオなどコピーード信号を含んだ映像を、録画することはできません。
- 注 13 : また、ビデオ入力 (S ビデオ) 端子やビデオ入力 (コンポジット) 端子に接続した一部のビデオ機器では、メニューや操作画面においてコピーード信号を出しています。このような場合も、映像を録画することはできません。
- 注 14 : ビデオ出力 (S ビデオ) 端子に機器を接続していない場合は、コピーード信号を含んだ映像をパソコン側で表示することができます。ビデオ出力 (S ビデオ) 端子に機器を接続している場合は、コピーード信号を含んだ映像をパソコン側で表示することはできません。
- 注 15 : 19 型液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵)、および 17 型液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) をお使いの方は、インスタントテレビ機能を使用すると、コピーード信号を含んだ映像を表示することができます。
- 注 16 : 「SD メモリーカード」、「メモリースティック」、「xD-ピクチャーカード」の同時使用はできません。
- 注 17 : 「マジックゲート」などの著作権保護機能には対応していません。
- 注 18 : マルチメディアカード (MMC) には対応していません。
- 注 19 : アナログ RGB ミニ D-SUB、付属ディスプレイ専用コネクタの同時使用はできません。
- 注 20 : 付属のディスプレイ以外は接続しないでください。
- 注 21 : すべての USB 対応周辺機器について動作するものではありません。
- 注 22 : 電源 OFF 時の消費電力を回避するには、パソコンの電源プラグをコンセントから抜いてください。19 型液晶ディスプレイ、17 型液晶ディスプレイ (TV チューナー内蔵) をお使いの方は、ディスプレイの電源プラグもコンセントから抜いてください。
- 注 23 : パソコン本体から添付の液晶ディスプレイに供給する電力を除いた値です。
- 注 24 : エネルギー消費効率とは省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
- 注 25 : 出荷時に Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載が適用されています。
- 注 26 : Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載が適用されている必要があります。
- 注 27 : 他の OS をお使いになるときは、FMV 活用サイト AzbyClub (アズビクラブ) ホームページ (<http://azby.fmworld.net/>) をご覧ください。

2 その他の仕様

LCD 内蔵スピーカー

■ 19型液晶ディスプレイ (TVチューナー内蔵) の場合

方式	バスレフ方式
スピーカーユニット口径	サテライト：φ18mm+φ36mm サブウーファー：φ56mm
定格入力	サテライト：3.0W/ch サブウーファー：5.0W/ch
再生周波数	サテライト：110Hz～18kHz サブウーファー：70Hz～300Hz

■ 17型液晶ディスプレイ (TVチューナー内蔵) の場合

方式	バスレフ方式
スピーカーユニット口径	28mm×40mm
定格入力	1W/ch
再生周波数	420Hz～20kHz

LAN機能

6

LANコントローラ	Broadcom BCM5789
送受信バッファ用RAM	送受信 各40kbyte
外部インターフェース	ISO8802-3 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
伝送媒体	ツイストペアケーブル ^{注1} (1Gbps: カテゴリ5E以上、100Mbps: カテゴリ5、10Mbps: カテゴリ3～5)
伝送方式	ベースバンド
アクセス方式	CSMA/CD
データ転送速度	1Gbps、100Mbps、10Mbps
配線形態	スター型
セグメント最大長	100m
最大ノード数/セグメント	ハブユニット ^{注2} による

注1：ネットワークを100Mbpsで確実に動作させるには、非シールド・ツイスト・ペア(UTP) カテゴリ5またはそれ以上のデータ・グレードのケーブルをお使いください。カテゴリ3のケーブルを使うと、データ紛失が発生します。

注2：ハブユニットとは、100BASE-TX/10BASE-Tのコンセントレータです。

POINT

ネットワークのスピードについて

LANはネットワークのスピードに自動で対応します。ハブユニットの変更などでネットワークのスピードが変更される場合、スピードに対応した適切なデータグレードのケーブルを必ずお使いください。

高画質ハードエンコーダ付 TV チューナーカード

割り込み (IRQ)	PCI システムによる自動設定
メモリマッピング	PCI システムによる自動設定
NTSC 入力仕様	NTSC コンポジット : 1V p-p 75Ω S ビデオ : 1V p-p 75Ω コネクタビデオ音声入力端子 (右) …RCA ピンジャック × 2 ビデオ音声入力端子 (左) …RCA ピンジャック × 2 ビデオ入力 (コンポジット) 端子…RCA ピンジャック × 2 ビデオ入力 (S ビデオ) 端子…ミニ DIN4 ピンジャック × 2 アンテナ入力 (F 型同軸) 端子…F 型コネクタ × 1
TV 音声仕様	ステレオ、音声多重対応
RF 入力端子	75Ω F 型コネクタ

リモコン

通信方式	赤外線方式	
使用可能距離	3m	
乾電池の寿命の目安	約 6ヶ月 (マンガン乾電池使用時)	
使用可能範囲	水平	約 30°
	垂直	上 : 約 10° / 下 : 約 40°
使用電池	単 3 形乾電池 2 本	

ワイヤレスキーボード（ワンタッチボタン付、105キー、無線方式、抗菌^注）

キー配列	105キー（テンキー付）+ ワンタッチボタン（8ヶ）+ パソコン電源ボタン
インターフェース	RF（無線）方式
使用可能範囲	パソコン本体から最大10m（3m以内を推奨）、左右約45度（ただし、設置環境により短くなる場合があります）
使用電池	単3形アルカリ乾電池2本
乾電池の寿命の目安	毎日2時間の使用で約6ヶ月 (ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります)
外形寸法（W×D×H）	約437mm×約170mm×約35mm（チルト未使用時）
質量	約1200g（乾電池含まず）

注：抗菌処理部分：キーボードのキートップ部分（キーボードのキートップ部分に刻印された文字およびワンタッチボタンは除く）

ワイヤレスマウス（光学式）

セレクトスイッチ動作形式	2押ボタン、1ホイール
インターフェース	RF（無線）方式
使用可能範囲	パソコン本体から最大10m（3m以内を推奨）、左右約45度（ただし、設置環境により短くなる場合があります）
使用電池	単3形アルカリ乾電池2本
乾電池の寿命の目安	毎日2時間の使用で約3ヶ月 (ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります)
外形寸法（W×D×H）	約60mm×約114mm×約35mm
質量	約90g（電池含まず）

Memo

この本で見つからない情報は、「画面で見るマニュアル」で！

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→
「 富士通サービスアシスタント(マニュアル&サポート)」の「画面で見るマニュアル」

索引

A	—セットアップ 48
Application ボタン	19
C	あ行
CD/DVD 取り出しボタン	16
CONNECT ボタン	16
D	アナログ RGB コネクタ 17
DDR	94
DIMM	94
E	アンテナ入力 (F型同軸) 端子 17
ECC	94
F	インターネット 67
FAX モデムカード	18
I	インターネットボタン 19
ID 設定	102
IEEE1394 (DV) 端子	16
L	インレット 17
LAN コネクタ	17
LINE 端子	17
M	ウイルス 67
Mute (消音) ボタン	19
N	ウイルス対策ソフトの初期設定 72
Norton AntiVirus	72
P	液晶ディスプレイのお手入れ 27
PC カードスロット	16
PC カード取り出しボタン	16
PHONE 端子	17
S	音量調節ボタン 19
SDRAM	94
SPD	94
U	か行
USB コネクタ	16, 17
W	拡張スロット 18
Windows	各部名称 15
— Update	16
— 使用許諾契約書	53
	—パソコン本体前面 16
	—パソコン本体内部 18
	—パソコン本体背面 17
	—ワンタッチボタン 19
	キーボード
	— ID 設定 102
	— 乾電池 101
	— 準備 35
	キーボードコネクタ 17
	キーボード／マウスアンテナ 16
	機種名 22
	強制終了 64
	クリック 51
	光学式マウス 52
	さ行
	サービスアシスタント 60
	サポートボタン 19
	仕様
	— LAN 機能 111
	— LCD 内蔵スピーカー 111
	— 高画質ハードエンコーダ付 TV チューナーカード 112
	— パソコン本体 108
	— ホームサーバー機能 112
	— リモコン 112
	— ワイヤレスキーボード 113
	— ワイヤレスマウス 113
	スーパーマルチドライブ 16, 18
	セキュリティ対策 67
	接続する 31
	セットアップ 48
	ソフトウェア
	— 使い始める 61

た行	
ダイレクトメモリースロット (SD カード、 メモリースティック、xD-ピクチャーカード)	16
通風孔	17
ディスプレイの接続	36
電源	
一入れる	65
一切る	62
一切れないのである場合	64
電源ケーブルの接続	42
電源ボタン	16
電源ユニット	18
電源ランプ	16
盜難防止用ロック取り付け穴	17
な行	
内蔵ハードディスク	18
は行	
ハードディスク／CD アクセスランプ	16
初めて電源を入れる	46
バックアップボタン	19
光デジタルオーディオ出力端子	17
ビデオ音声入力端子 (左)	16, 17
ビデオ音声入力端子 (右)	16, 17
ビデオ出力 (D2 映像) 端子	17
ビデオ出力 (S ビデオ) 端子	17
ビデオ入力 (S ビデオ) 端子	16, 17
ビデオ入力 (コンポジット) 端子	16, 17
品名	22
付属ディスプレイ専用コネクタ	17
フラップ	16
ヘッドホン端子	16
保証書	28
ボリュームボタン (+)	19
ボリュームボタン (-)	19
ま行	
マイク端子	16
マウス	
一 ID 設定	102
一乾電池	101
一準備	35
一持ち方	51
メール着信ランプ	16
メールボタン	19
メニューボタン	19
メモリ	93
一組み合わせ	94
一取り付ける	96
一持ちかた	95
メモリスロット	18
メモリバスクロック	94
や行	
ユーザー登録	78
ら行	
ラインアウト端子	17
ラインイン端子	17
わ行	
ワンタッチボタン	19

FMV-DESKPOWER H70L9V,H70L7V

パソコンの準備

B6FH-5191-01-00

発行日 2005年4月

発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

Printed in Japan

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。